第24回テレワーク推進賞
受賞事例資料集

一般社団法人日本テレワーク協会　2023年12月発行

受賞企業・団体一覧

table of contents

会長賞 …… 株式会社NTTアグリテクノロジー

実践事例　優秀賞 …… 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
実践事例　優秀賞 …… LAPRAS株式会社

実践事例　奨励賞 …… コクヨ株式会社
普及貢献/ビジネス創出 奨励賞 …… 株式会社寿商会
地域活性化 奨励賞 …… 鹿沼市
社会貢献　奨励賞 …… 株式会社オープンハウスグループ

ユニークな取り組み ユニーク賞 …… 小田原もくもく・ワーケーション会
ユニークな取り組み ユニーク賞 …… 株式会社北陸人材ネット

テレワーク推進賞とは

https://japan-telework.or.jp/associationactivities/suishin/

「テレワーク推進賞」は、一般社団法人日本テレワーク協会が主催する、2000年(平成12年)にスタートした国内でもっとも歴史のあるテレワークに関する表彰事業です。

テレワークを導入・活用した、または普及に貢献した企業・団体等を顕彰し、働き方の選択肢増加による柔軟な働き方の実現により社会に貢献することを目指します。受賞企業は、専門家、有識者による厳正な審査によって決定します。これまでに延べ351の企業、団体、個人を表彰し、その取り組みを広く社会に周知して参りました。

開始当時は大企業のサテライトオフィス活用など限られた範囲での表彰事業でしたが、近年ではコロナ禍を契機としたテレワークの急速な拡大もあり、中小企業や各種団体、地方自治体からも多くのご応募をいただいています。

また、受賞によりイメージアップ、従業者エンゲージメントの向上、採用活動でのPR効果拡大、など様々な効果につながっています。

事例紹介

case study

会長賞

株式会社NTTアグリテクノロジー

Japan Telework Award 2023 Grandprix

NTTアグリテクノロジー

NTTアグリテクノロジーが実現する
一次産業の究極テレワークスタイル

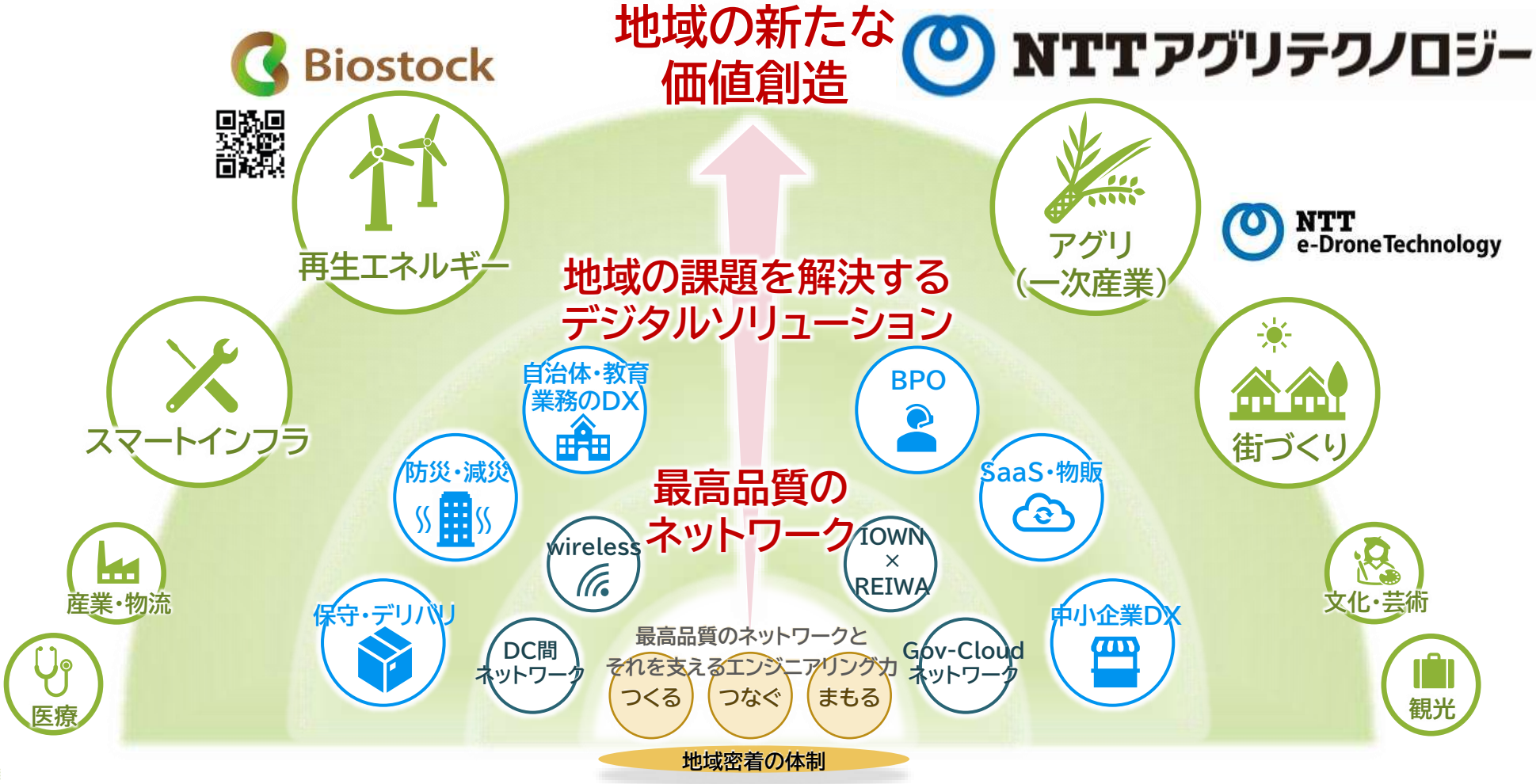
２０２４年１月１１日

株式会社NTTアグリテクノロジー

NTTAgriTechnology Confidential

NTT東日本グループの取り組み

地域の新たな価値創造を実現する SOCIAL INNOVATIONパートナーをめざしています

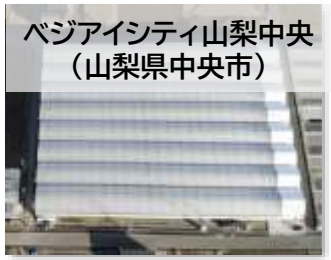


NTTAgriTechnology Confidential

NTTアグリテクノロジーの概要

NTTグループ唯一の農業専業会社

● 自社ファームにおける農作物の生産・販売（農業生産法人）


ベジアイシティ山梨中央
（山梨県中央市）

最先端農業ハウス
（東京都調布市）

木質バイオマス×コンテナ
（群馬県渋川市）

陸上養殖プラント
（福島県福島市）

他、拡大中

● ICT温室ソリューションの提供

- 最先端グリーンハウスの設計・竣工　など

Tedy様の温室の設計・施工
（茨城県水戸市）

● 一次産業向けソリューション

- データ駆動型農業の地域実装
- IoT/AIによる生産性向上や省力化の現場支援　など

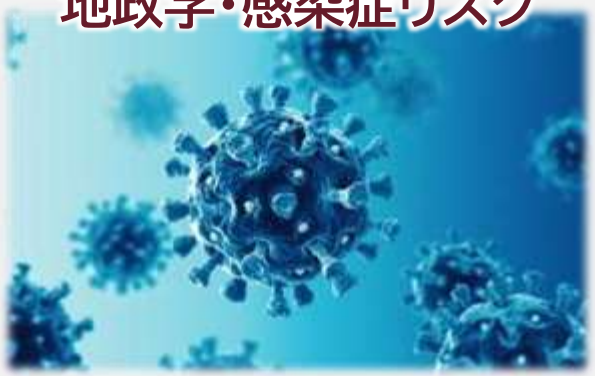
NTTAgriTechnology Confidential

食の安定供給に関するリスク

グローバル

気候変動の深刻化

地政学・感染症リスク



国際価格高騰・為替変動

日本国内

地方中心に労働力大幅減（高齢化・担い手不足）

（出典）農林水産省『農業労働力に関する統計（2022年度）』

先進国最下層の食料自給率

（出典）農林水産省『世界の食料自給率（2019年度）』

先進国最下層のエネルギー自給率

（出典）IEA『World Energy Statistics and Balances（2019年度）』

NTTAgriTechnology Confidential

日本の農業はどうか

今こそ新たなイノベーションで
超高齢化社会の逆境を乗り越えるとき

農業従事者数

2000年389万人 ▲68% 2022年123万人

（出典）農林水産省『農業労働力に関する統計（2022年）』

農業従事者の平均年齢

2000年62歳 ＋6歳 2022年68歳

（出典）農林水産省『農業労働力に関する統計（2022年）』

耕作放棄地

1995年24万ha 1.7倍 2015年42万ha

（出典）農林水産省『農林業センサス（2020年）』

NTTAgriTechnology Confidential

「トレードオフ」から「両立」の世界をDX・GXで自ら実現

農業と

「生産性向上」・「省力化」の両立

「環境負荷軽減」の両立

従来

生産効率の伸び悩み

長時間労働化・コスト増

水・エネルギー資源
化学肥料の大量消費

次世代施設園芸

当社の次世代施設園芸
（サッカー場の約1.5倍）

AI/IoTによる環境制御・
人員配置最適化

遠隔営農ソリューション

当社が施工した次世代施設園芸
（サッカー場の約3倍）

蓄熱タンクによる
熱エネルギー再利用

水の完全循環（99%再利用）

収量×単価の最大化

資源循環型農業の実現

NTTAgriTechnology Confidential

究極テレワークスタイル：遠隔営農支援

国内外の様々なパートナーと遠隔営農支援プロジェクトを推進中

＜事例＞

NTTアグリテクノロジー × 全農 農研機構 （東京都）

遠隔栽培支援センタ（コックピット）

NTT中央研修センタ内　※全農との事例

JA全農様

農研機構様

東京都様

技術者

オペレーター

遠隔指導

データ

映像データ
環境データ
生育データ

将来的には
ロボティクスの
オペレーションも準備中

生産者の圃場

栽培支援・指導

専門的な技術の伝承

栽培支援

ロボティクス

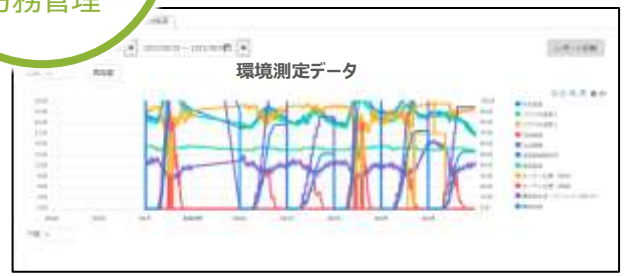
各自治体の農業試験場

NTTAgriTechnology Confidential

テレワーク×データ駆動型による進化

見える化

分析



AI

「あれば便利」から「なくては困る」に

1）収入の向上

ex：販売機会損失の低減

2）ロスカット

ex：収量予測による後工程マネジメント
フードロス削減

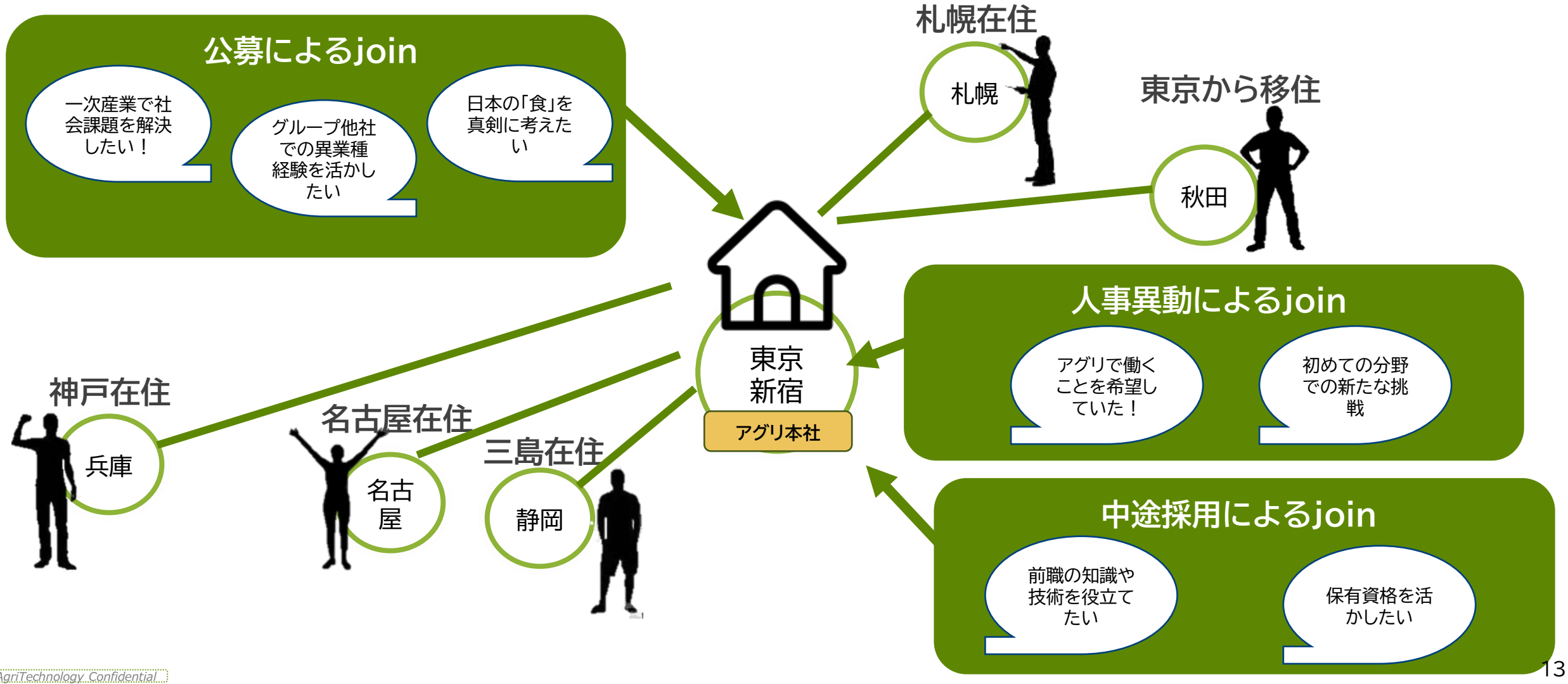
3）経済的な損失抑止

ex：病害虫被害の抑止

NTTAgriTechnology Confidential

拡がる多様な人材と働き方

joinするまでの道、前職経験など多様な人材が多様な働き方を実現



NTTAgriTechnology Confidential

農業を憧れの産業に

食の安定供給により、
農業・食品産業を魅力ある、強い、憧れの産業に

未来に向けたカタチ

農業従事者　自治体　研究機関　企業等

憧れの職業に
社会を支える誇れる職業・儲かる産業

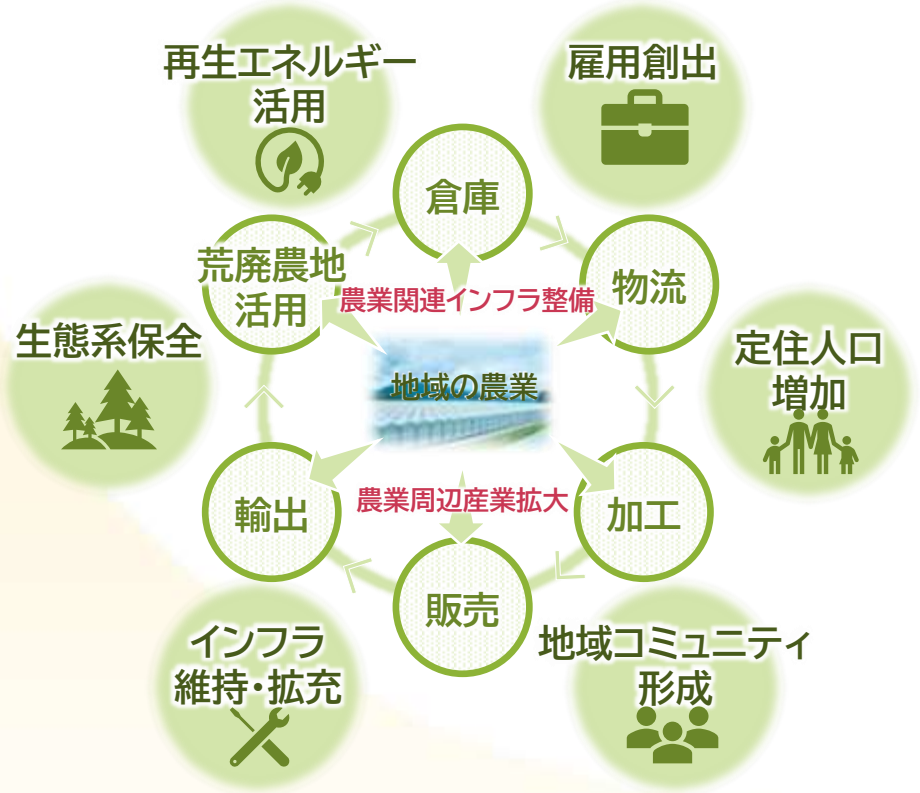
持続可能な農業へ
誰もが活躍できるインクルーシブ農業
多様な人材活用によるイノベーションの創出
地産地消

技術・農作物の輸出拡大
少子高齢化問題や、四季折々の厳しい自然環境下で培った技術や、安心安全な農作物を海外へ

再エネ・省エネ
環境配慮・ゼロエミッション

食の安定供給

農業を起点とした地域振興



NTTAgriTechnology Confidential

究極のリモートワークの成果

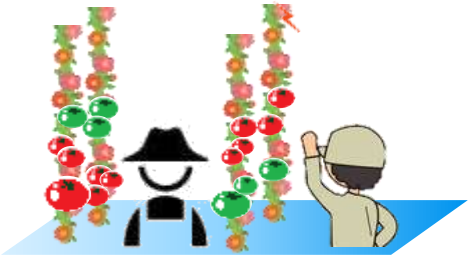
高画質映像を通じ、現地に赴くことなく効率的な指導を実施
栽培未経験者でも失敗のない栽培を実現

	従来方式		ローカル5Gの活用方式
訪問頻度	週1回/ほ場の現地技術指導を実施	→	指導の高品質化 遠隔から一日5～10分程度映像データを確認
移動時間	研究所から車で1時間程度	→	巡回の効率化 移動時間無し

毎日の変化に応じた**適切な対応**

一人の専門家で**複数**の生産者の**農作業支援**ができる可能性

栽培未経験者でも
定植～出荷まで完遂し
美味しいトマトの栽培に成功



NTTAgriTechnology Confidential

NTTアグリテクノロジーのビジネスフィールド

産品一覧

リーフレタス
（次世代施設園芸で栽培）

トマト
（次世代施設園芸で栽培）

夏イチゴ
（産地形成・ブランディング）

玉ねぎ
（遠隔営農支援で栽培）

しいたけ
（木質バイオマスの排熱で栽培）

フォー
（6次化産品）

ベニザケ（陸上養殖）

鯉カレー（郷土食支援）

日本酒（ブランディング）

冷凍食品
（自社栽培トマトを活用）

逢瀬ワイン
（ブランディング）

NTTAgriTechnology Confidential

事例紹介

case study

実践事例 優秀賞

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

Japan Telework Award 2023 Excellence

Click to start

FUJIFILM

Value from Innovation

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
本ドキュメント上に記載・表示された社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

富士フイルムビジネスイノベーションジャパンにおける個人とチームの生産性を高める働き方改革の取り組み

2024年01月11日

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
常務執行役員　楠　智靖

Japan Telework Award 2023 Excellence

NEVER STOP　DX認定

FUJIFILM Value from Innovation

※ 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社は経済産業省が定めるDX認定企業です

富士フイルムビジネスイノベーションジャパンご紹介

富士フイルムビジネスイノベーションジャパンについて

事業理念

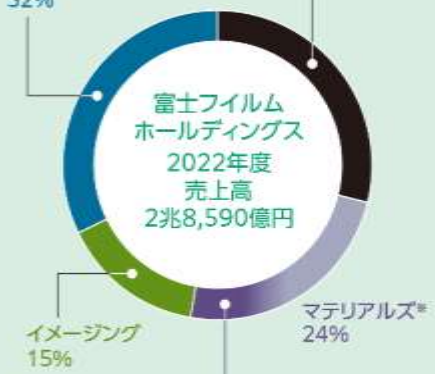
「ビジネス」に、革新を。

社名が使命。変化に先駆けビジネスに革新を起こし続ける

- ●卓越した商品とサービスで世界のお客様の成長に貢献します
- ●すべての働く環境における業務プロセスの改革を支援します
- ●組織の力を最大化する情報や知識の活用環境を構築します

事業概要

ビジネスのあらゆる場面でDXの推進を通じて、業務プロセス全体の最適化や顧客関係性強化など、お客様の課題解決や成長に貢献します。また、人々の働き方や業務プロセスの変化を捉え、時間や場所にとらわれない働き方を支援します。



富士フイルムビジネスイノベーションの主な事業

オフィスソリューション事業

複合機・プリンターなどのオフィス機器および関連ソリューションを提供するビジネス

ビジネスソリューション事業

さまざまな業種や業務の特性に合わせて、システムインテグレーションやクラウドサービスによるソリューション、複合機管理や基幹業務プロセスの役務代行など課題解決型のドキュメントサービスを提供するビジネス

グラフィックコミュニケーション事業

コンテンツ製作から加工・配送までを包含するグラフィックコミュニケーションの領域で、商業印刷分野におけるデジタル印刷機や、印刷ワークフロー・ソリューションを提供するビジネス

※マテリアルズ内のグラフィックコミュニケーション事業の2022年度売上は、富士フイルムビジネスイノベーションと富士フイルムの合算値です。

富士フイルムビジネスイノベーションジャパンのあゆみ

「人を中心とした**コミュニケーション**」を進化させ、デジタルを活用した新しい働き方をお客様、社会に提案し続けています。

1962 創業
1979 販売会社設立
2005 34販売会社体制
2012 31販売会社体制
2021 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン創立

常にお客様のビジネス環境の変化に応えコミュニケーション変革を牽引

モノクロ → カラー・デジタル化 → ソリューションサービス → Smart Work Gateway → Bridge for Innovation

1962
業界初の普通紙複写機 914

1989
FAX+複写機のデジタル複合機 Able3010

1992
本格的なデジタルフルカラー複写機 Acolor 635/630

1997
ネットワーク型 新Ableシリーズ

1999
オフィスのカラー化 DocuColor1250

2004
業務システム連携 ApeosPortシリーズ

1982
情報ネットワークシステム J-Star

1989
統合図面管理システム EDMICS

1998
文書管理ソフトウェア DocuWorks

2002
安心・安全なネットワーク環境 beat

コンビニでいつでもプリント ネットプリント

Web統合情報管理システム ArcSuite

2007
ドキュメントアウトソーシングサービス Global Servic

2008
eQix
オフィス用品販売サイト eQix

2009
ドキュメント入出力管理 ApeosWare Management Suite

2011
クラウドサービス Working Folder

2012
名刺管理サービス SkyDesk Cards R

2015
クラウドを活用した出力サービス Cloud On-Demand Print

2016
各社クラウド連携を一元化 Cloud Service Hub

2016
法人向け ネットプリントサービス for business Afterpay

2018
クラウド型文書管理ソリューション Smart Workstream

AI活用による帳票処理業務自動化 Smart Data Entry

2020
米国のセキュリティ基準NIST SP800-171への準拠性で日本で初めて最高評価を取得

電子サイン

個室型ワークスペース CocoDesk

ITアウトソーシングサービス
IT Expert Service

大量紙文書の電子化 富士フイルム RIPCORDのサービス

2021
Apeos™
Apeosブランド投入

Revoria™
プロダクション関連商品新ブランド Revoriaシリーズ

マーケティングDX支援サービス Marketing Cockpit

データ入力業務全体を効率化するクラウドサービス ApeosPlus desola

2022
複合機DXでのデジタル化促進
複合機DX Bridge DX Library

DocuWorks 800万ライセンス突破

2023
IT Expert Services
IT運用/管理業務を支援するITサポートサービス

FUJIFILM IWpro
お客様の利用システムを最大限生かした業務プロセス変革を支援しDXを加速

Bridge DX Library

お客様とビジネス変革を共に実現するイノベーションカンパニーへ

営業生産性向上に向けた活動

営業生産性向上に向けた活動

2008年（リーマンショック）の危機脱却を目指し、**営業生産性向上**を目的として営業活動と仕組み、働き方を改革。

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021

営業の基本の徹底（お客様接点力強化/関係性強化）

営業プロセス革新

増力化

省力化

- 営業プロセス標準化
- チーム営業力強化
- 営業活動データ分析
- バックオフィス強化

働き方変革プロジェクト

行動量/スピードの最大化

提案品質/能力の向上

- モバイル環境構築
- 業務BPR
- 電子帳票/電子契約
- 人事制度/ルール見直し
- テレワーク推進
- オフィス環境構築
- ハイブリッドワーク

施策の連動により生産性向上を加速

課題認識（2008年当時）

2008年における課題

業 績

複合機の稼働台数減少
↓
売上減少

顧客満足度調査

2006年以降
CSが1位から転落

お客様

- お客様業務プロセスの変化
- 永年のお客様から関係性の希薄化を懸念する声

経営

- 顧客接点活動強化/CS向上
- 業務生産性改善

営業現場

- お客様の要求スピードに追随できていない
- 無駄が多く仕事が回らない

営業生産性向上に向けた取り組みを開始

営業生産性の評価指標

営業工数調査により、十分な「顧客価値向上時間」が確保できていないことが判明。
働き方変革により「社内付帯業務」を削減し、改善した時間を「顧客価値向上時間」にシフトするとともに、
営業プロセス革新での営業力増加を目指す。

工数をシフト

	増力化		省力化
改革前 2008年	**29%**		**46%**
	顧客価値向上時間 （お客様へ向かう時間）	その他	**社内付帯業務時間** （事務処理など）
	● 顧客面談 ● 情報収集 ● データ分析 ● 関連部門との討議 ● 提案書作成	● 移動時間 ● 機器設置	● 社内報告資料作成 ● 活動情報入力 ● 勤怠/交通費処理 ● 機器の確保 ● 機器発注 ● 関連部門調整

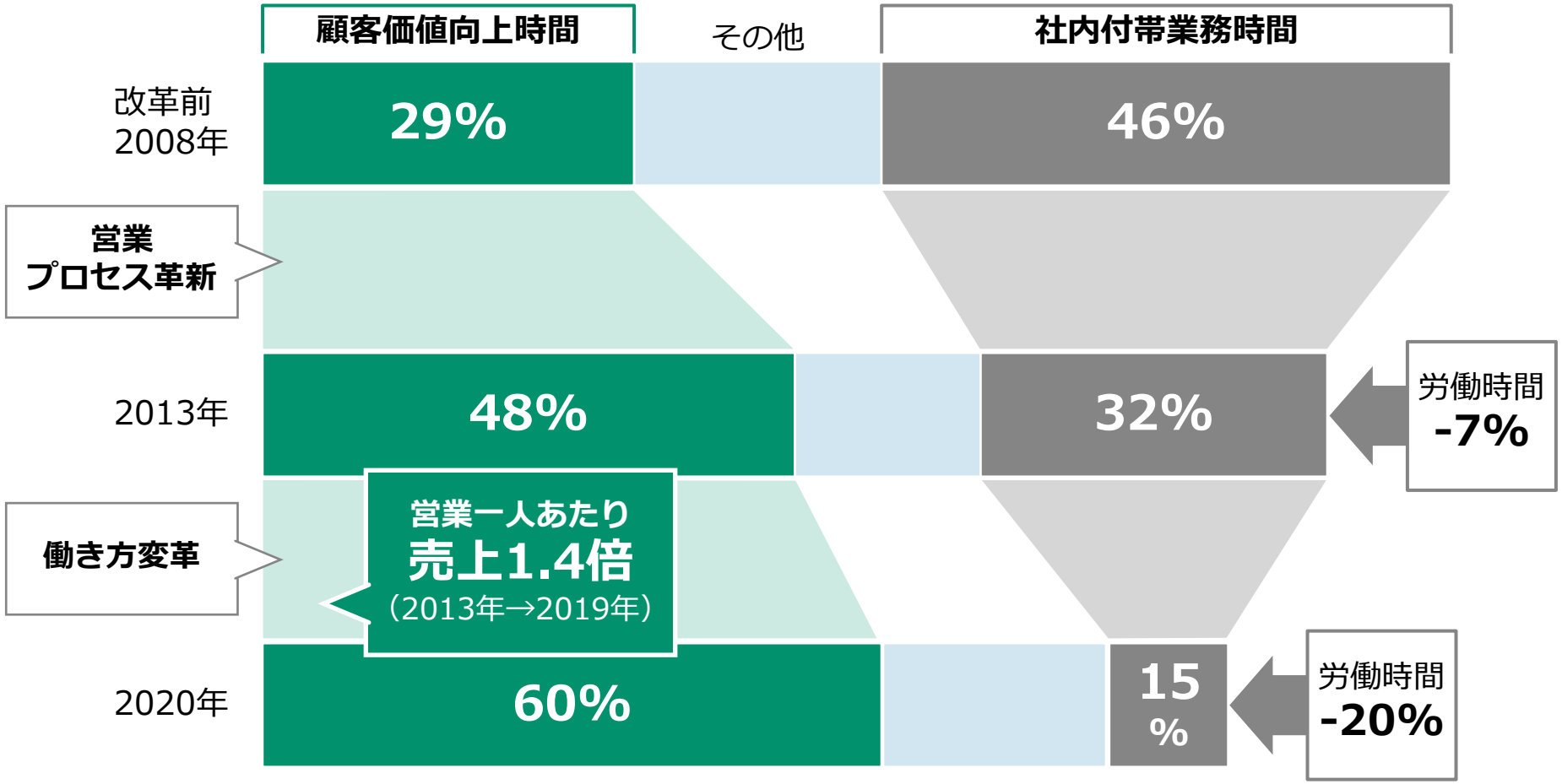
※ 食事、休憩は対象外

取り組みの全体像

お客様
提供価値の向上・生産性の向上
営業活動の全体構造
お客様接点力
行動量・スピード
×
提案品質/提供能力
価値提供能力
チームでの情報共有・連携
アカウント営業
専門/SE/CE/eSR
バックオフィス
スタッフ
営業プロセス
アプローチ
セリング
デリバリ
ケア
営業マネジメント
Deal Hub
SBO
SFA
営業BI
社内業務プロセス
帳票
取申
商談
手配
移動
廃棄
管理
社内業務プロセス見直し・帳票の整理統廃合
帳票運用ルール
ルール
営業取引ルール（取申）・セキュリティールール
人事制度(リモートワーク/在宅制度)
仕組み/システム
IT環境（モバイルPC/スマホ展開、情報電子化）
オフィス環境構築
営業プロセス革新
増力化
省力化
働き方変革
行動量/スピードの最大化
提案品質/能力の向上

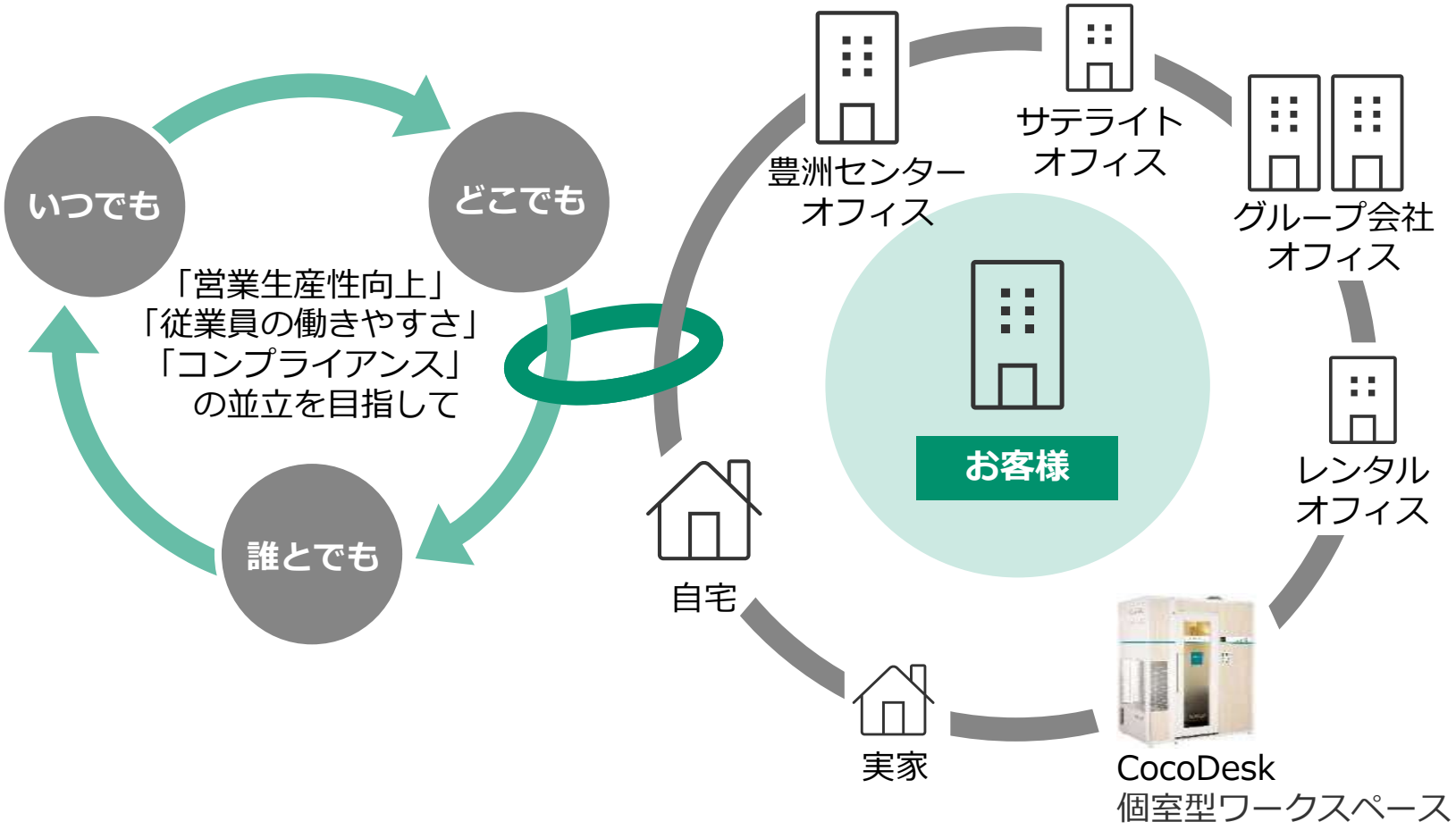
これまでの取り組みによる営業工数の変化

社内付帯業務、総労働時間を削減し、さらに営業生産性を大幅に改善。



新しいテレワーク環境に対する考え方

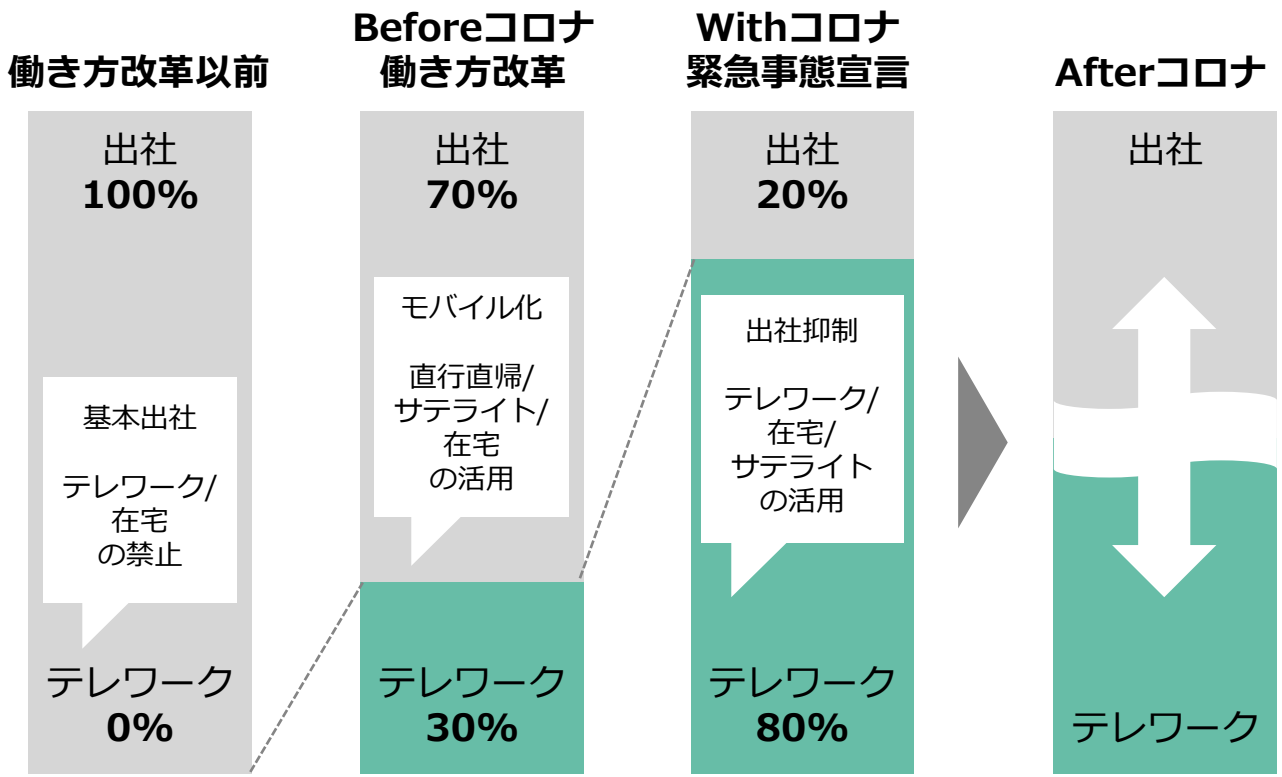
- お客様への**レスポンスを考慮して全国の都市にオフィスを配置。**
- **お客様との関係を最優先にオフィスと在宅の二者択一ではなく、**仕事の都合に合わせて「いつでも・どこでも・誰とでも」働けるような環境を構築。



Before/With/Atferコロナでのオフィスのあり方

- オフィスに出社する目的は「お客様との共創、360°コミュニケーション、生産性向上の実現」
- コロナ禍でもオフィスコンセプトに影響はなく、当初の設計通りにオフィスを構築

出社率の変化



- Afterコロナでは業務の内容や時々の情勢に合わせ、柔軟な対応を行う。
平時からオフィス環境やテレワーク環境の準備が重要。

- Afterコロナでのオフィスは作業空間としての役割は低下し、コミュニケーションの場としての役割が増加すると考えられる。

新たな働き方へ

出社/テレワークを組み合わせた

ハイブリッドワーク

を実現

※テレワーク（直行直帰/在宅/サテライトオフィス/レンタルオフィス/他）

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン流のABWの働き方

ABWは一般的には「個人の自己裁量の最大化」など「個人」の働き方に焦点があてられがちです。
富士フイルムBIジャパンでは、「個」の生産性向上とともに「強いチーム力」を発揮することで生産性の向上をはかり、
それぞれの要件を同時に成り立たせるため富士フイルムBIジャパン流のActivity Based Workingである、
“TEAM の ABW”を実践します。

いつでも・どこでも・誰とでも

個人

オフィスワーク

集中デスク

オープンデスク

テレワーク

サテライトオフィス
レンタルオフィス

自宅/外出先

×

チーム

オフィスワーク

ファミレスブース

コラボレーションエリア

テレワーク

Microsoft Teams

Web会議/チャット
リアル・バーチャルコミュニケーション

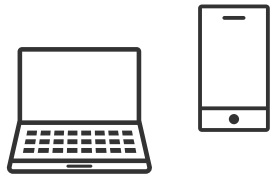
生産性向上

アウトプット最大化

チームでも働きやすい
富士フイルムBIジャパン流
ABW

ABW/テレワークを支えるソリューション

モバイルPC+スマホ

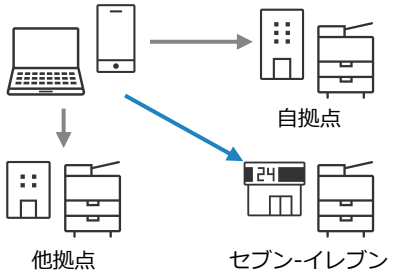


セキュリティー対策を実施したモバイルPCを展開。スマートフォンも営展開し、内外線統合、社内システム/Microsoft 365など活用。

内外線統合/PCフォン

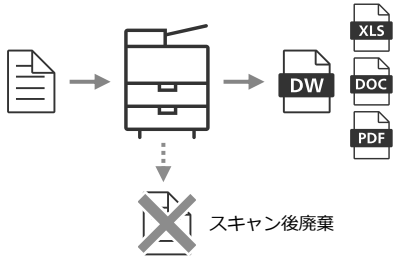
社内/社外問わず内線が繋がるため、内外線の使い分け不要で連絡可能。
固定電話もPCフォン化することでABW環境で自由に働くことができ、自宅等のテレワークでも会社外線の対応が可能となった。

どこでもプリント



拠点内はもちろん他拠点でも「どこでも」プリント可能。
外出時はセブン-イレブンでもプリント可能。

複合機スキャン



複合機を活用し紙文書を電子化し一元管理。紙から電子に変換し、紙は廃棄することでペーパーストックレス環境を実現。

会議室

モニター＋無線接続、Web会議機器、ホワイトボードの3点セットがすべての会議室に完備。すぐにWeb会議が開始可能。

Microsoft 365（Teams）活用

Web会議での
遠隔コミュニケーション

チャットでの
リアルタイムコミュニケーション

相手の状況に合わせてコミュニケーション手段を選択。
チャット、Teams会議での画面資料共有などコミュニケーションの品質と効率化が実現。

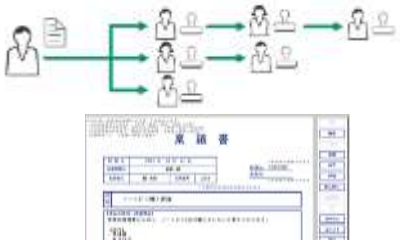
お客様/ファイル情報共有

SFA

Sharepoint

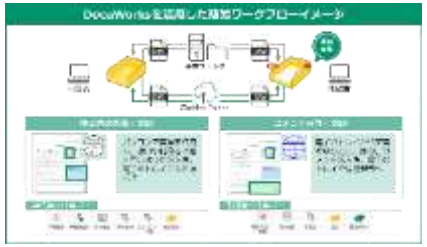
「いつでも、どこでも、誰とでも」必要なファイルにセキュアにアクセスが可能。

稟議プロセス電子化



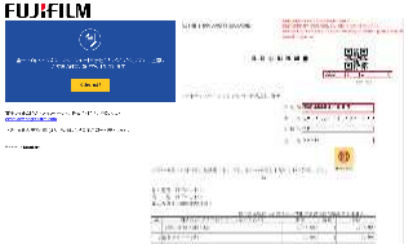
電子化した帳票ワークフローにより「いつでも、どこでも」承認、回付が可能となり社内業務の生産性が向上。

社内文書電子化



社内帳票の電子化をDocuworksで簡易に実現。規定を定義し電子証明書付の電子印を活用し、改ざん・なりすましを防止。

電子契約



電子契約で「いつでも、どこでも」お客様への契約捺印依頼が可能となり、お客様も「いつでも、どこでも」契約捺印が可能。

オフィス環境　・　ネットワークインフラ　・　セキュリティ

人事制度/業務ルール/社内規定

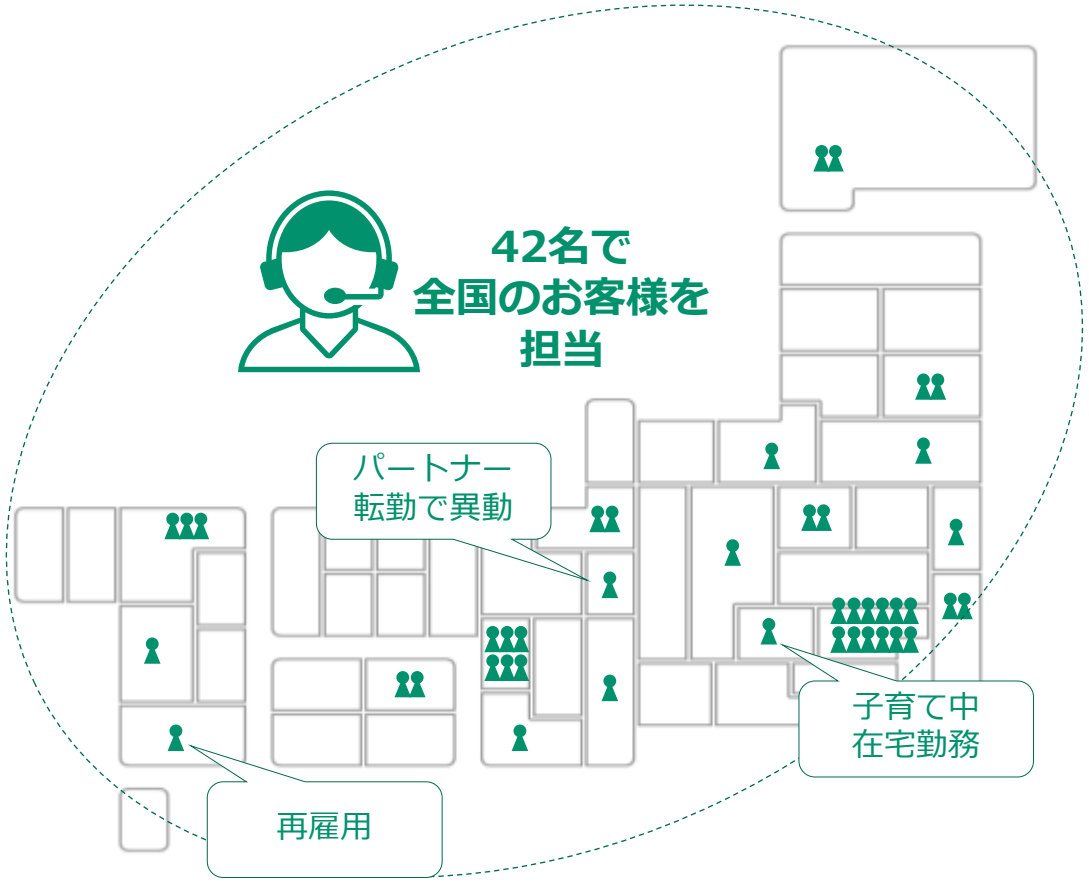
ABWを実現するファシリティ環境の構築

- 働き方変革を促進するため、ABWを実現するファシリティ環境を構築。
- 豊洲センターオフィス構築を機に、Team ABWに進化させて全国拠点への展開を加速。

テレワーク実践事例　ユニークな取り組み

全国横断でのインサイドセールス活動

- 業務　　全国32支社90,000社のお客様を42名で担当
- 働く人々の状況　どの地域にどんな職制/役割のメンバーがいるかをマッピング
  子育て・介護・再雇用
  転居を伴う異動なしで、新規組織が発足
- 働き方の挑戦　　1つの組織でそれぞれの場所で共通の目標に向かって活動。



全国メンバー間のコミュニケーションの「壁」

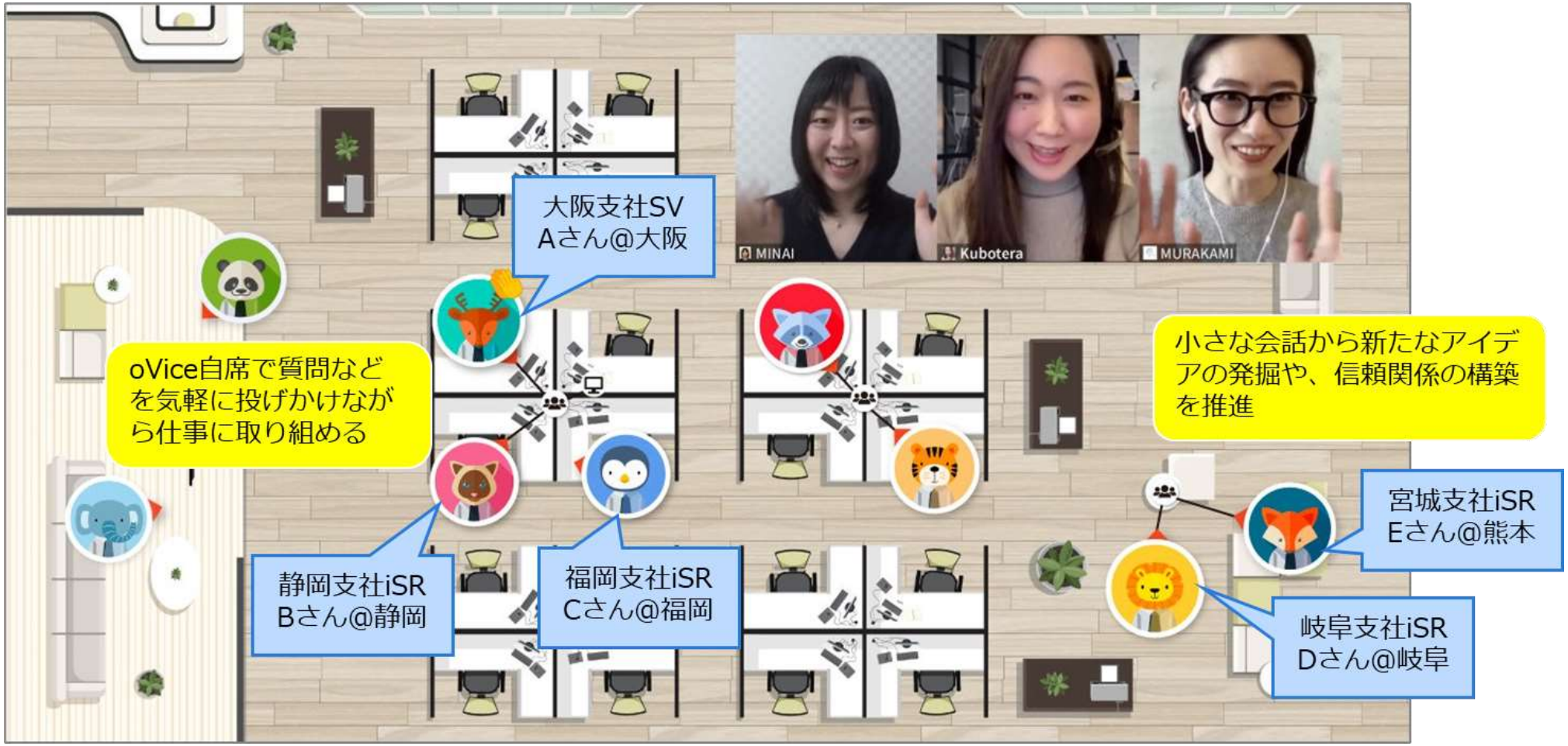
- **リモートではメンバーの顔色や様子が分かりにくい**
- **場所によっては1名で対応（「ぼっち」も発生）**

仮想空間（メタバース）導入

- リアル同様での会議や雑談ができる環境構築
- 密でスピーディな
  コミュニケーション可能

全国横断でのバーチャルでのコミュニケーション

- 全国拠点に在席するiSRメンバー同士が、同じオフィスにいる感覚で働ける仮想空間（メタバース）を構築
  Web上で自分のアバターを動かし、相手に近づけることで気軽に話しかけられる
  アバターには指向性があり自分に近い声は大きく聞こえ、現実空間に居るような感覚になれる



これまでの取り組みによる変化

営業プロセス革新、働き方変革の効果

営業プロセス革新の効果

営業工数　増力化

顧客価値向上時間 **+209%**

営業工数　省力化

社内付帯業務時間 **-74%**

労働時間　削減

総労働時間 **-20%**

働き方変革の効果

ワークフロー

起票から決裁まで
リードタイム
7.0日→2.8日 **-40%**

帳票出力枚数
76万/年削減 **-76万枚**

帳票電子化

帳票電子化
業務カバー状況 **80+%**

電子契約

お客様との
電子契約状況 **50+%**

電子契約による効果

営業契約
処理工数
(月間) **-5,000時間**

※2008年から2019年比較

継続的な改革への取り組み

お客様への持続的な価値提供と自社の収益拡大に向け継続的な改革に取り組む

営業工数創出　**顧客接点拡大**　**CS向上**

顧客接点改革

非対面の顧客接点を拡大し、営業工数創出と収益成長に向け新たなオポチュニティを獲得する。

社内業務プロセス改革

現状業務をゼロベースで見直し、営業業務プロセス改革を通じ、収益拡大・CS向上を実現する。

お客様を成功へ導く懸け橋となる存在へ

Bridge for Innovation

FUJIFILM

Value from Innovation

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
本ドキュメント上に記載・表示された社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

事例紹介

case study

実践事例 優秀賞

LAPRAS株式会社

Japan Telework Award 2023

Excellence

LAPRAS

働きがいも生産性も向上し、
幸せが持続する働き方

LAPRAS SUSTAINABLE WORKING STYLE

LAPRAS株式会社について

会社紹介

社名	LAPRAS株式会社 （旧 株式会社scouty）
英文社名	LAPRAS Inc.
設立年月日	2016年5月11日
所在地	141-0031 東京都品川区西五反田1丁目26番2号五反田サンハイツビルディング2階
資本金	389,138,200円（資本準備金も含む）
役員	代表取締役　染谷健太郎
事業許可番号	13 - ユ - 308293（有料職業紹介事業）

2016年5月	前代表の島田が株式会社scouty(現LAPRAS株式会社)を設立 第三者割当増資にて1250万円を調達
2017年2月	第三者割当増資にてInfinity Ventures Partners（現）Headline）等を引受先として約1億円を調達
2018年12月	第三者割当増資にて株式会社ウィルグループ等を引受先として約3億円を調達
2019年4月	LAPRAS株式会社に社名変更 事業をピボットし、個人向けサービス「LAPRAS」をリリース
2020年9月	第三者割当増資にて株式会社ウィルグループを引受先として約3.5億円を調達
2022年2月	代表取締役に現代表の染谷が就任

ITエンジニア向けサービスLAPRAS、企業向けスカウト採用サービスLAPRAS SCOUTにて転職・採用プラットフォームを展開しています。

エンジニア向け
to C

LAPRAS

ITエンジニアの
貢献を見せる、伝える
キャリアパートナー

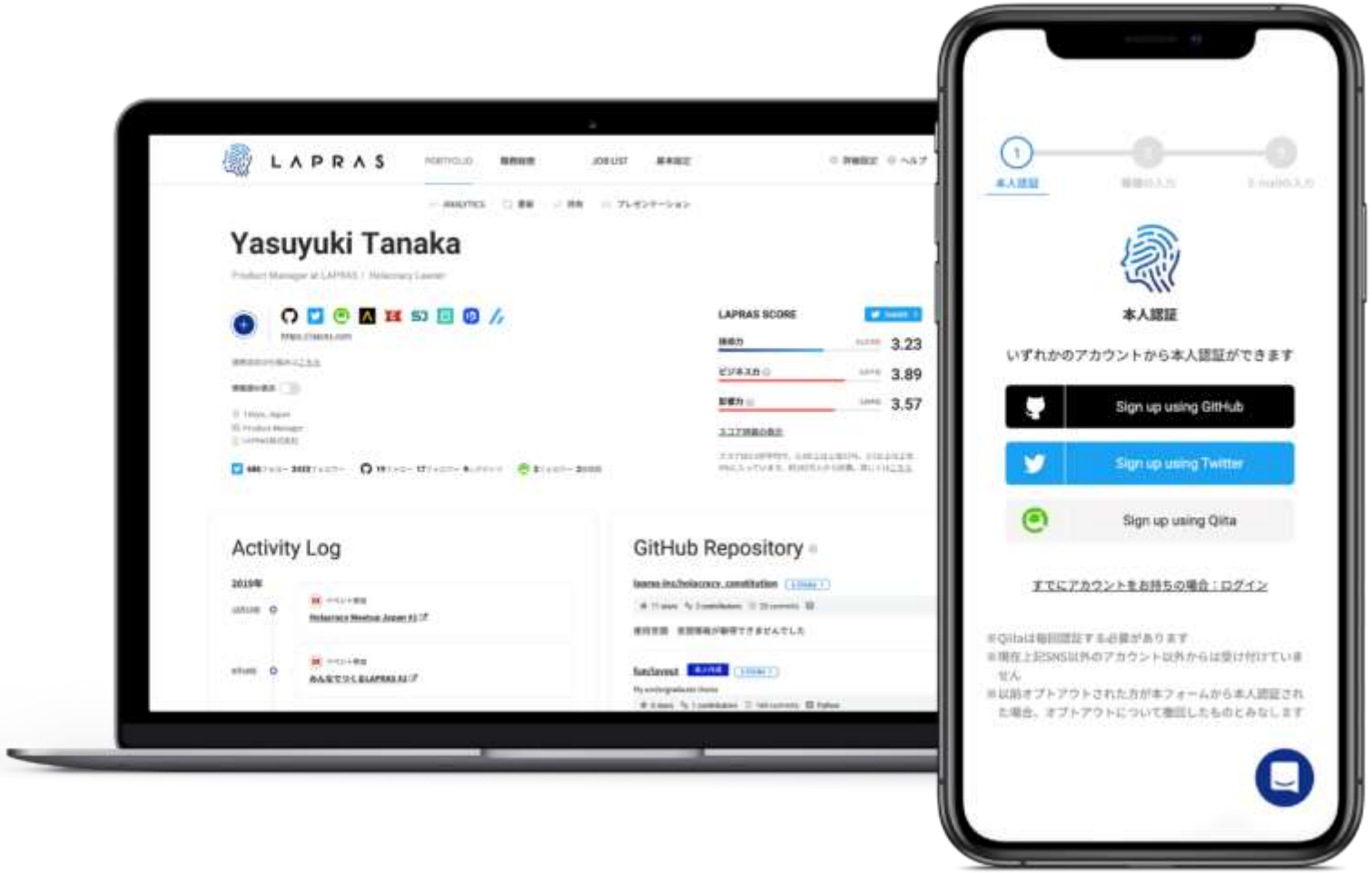
企業向け
to B

LAPRAS
SCOUT

嫌われない、枯渇しない、
つよいエンジニア採用
AIスカウトリクルーティングサービス

LAPRASの事業

LAPRASは、クローリング技術と機械学習による解析を行い、
ユーザーのプロフィールを自動生成するサービスです。
一人ひとりの実績や得意なことを可視化し、ポートフォリオとして提供します。



LAPRAS Sustainable Working Style

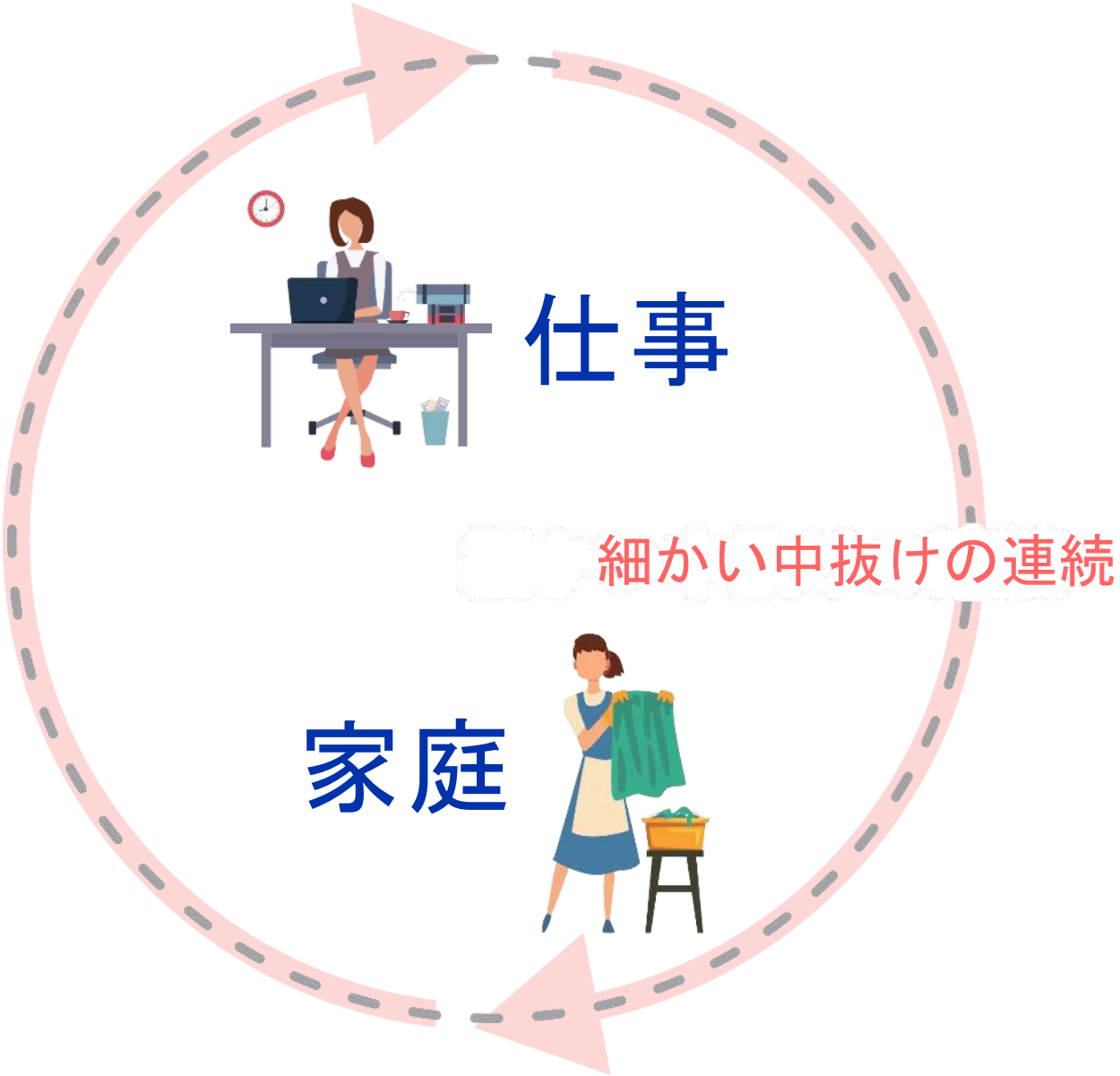
働く時間も場所も自由に決めて、幸せが持続する働き方

仕事

家庭

LAPRAS

仕事と家庭の境界が曖昧



生活スタイルによって働き方が大きく変化

＼ 解決のために！新たな人事制度を導入！ ／

LAPRAS Sustainable Working Style

（ 時間に縛られない働き方）

パフォーマンスを出して働いていれば、所定労働時間に足りなくても給与の減額をしない!

調整可能な働き方！

- 働く時間が調整可能になりました
- 働く日を調整可能になりました

LAPRAS

働く時間が調整可能になりました

- 各々のライフスタイルに合わせた始業時間
- 細かな離席を休憩とはせず、フルリモート特有のちょっとした用事にも引け目なく対応できるようにした
- 休憩とは別に1時間の心身の健康を保つための時間をとれるRAW制度の導入

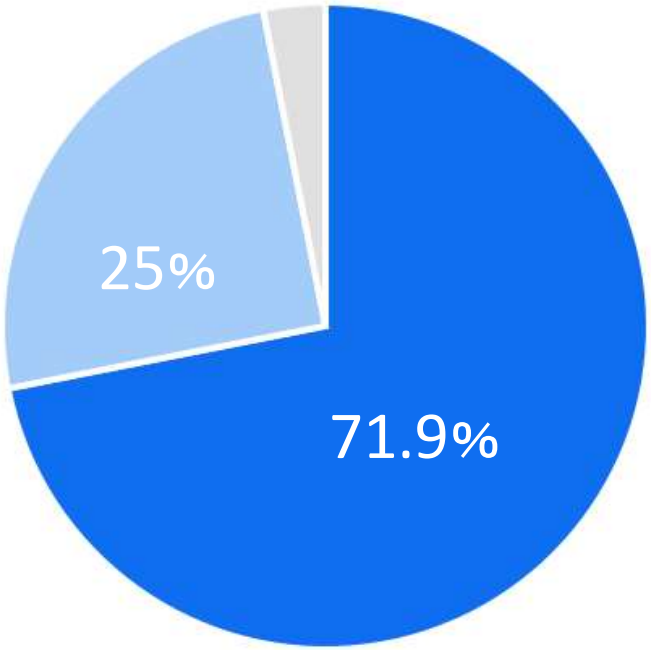
LAPRAS

働く日を調整可能になりました

- 日曜（法定休日）以外だったら超過労働にならない範囲内で労働可能
- 平日家族の予定があり短めに働いた分、
土曜に集中して働く事も可能

LAPRAS

もしLSWが廃止になった場合、どんな気持ちになりますか



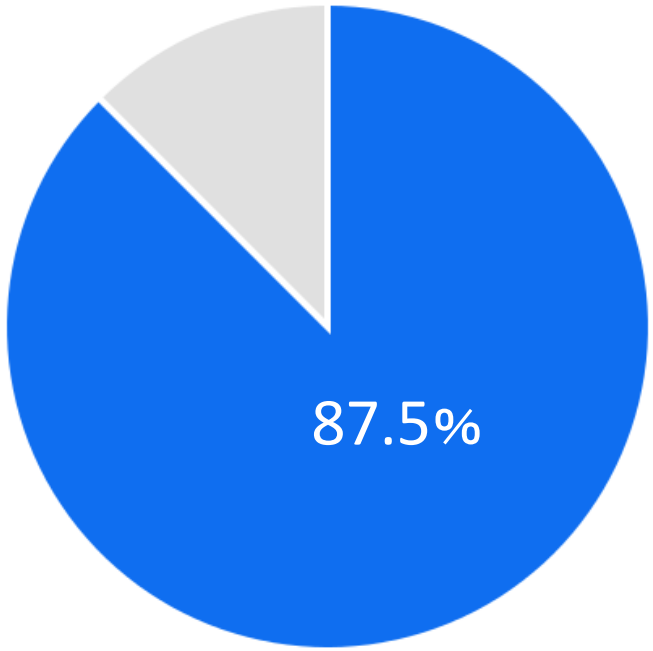
- なくなったら困る
- 悲しいけど仕方ない
- 別に何も感じない

全体の **96.9%**

2023年11月実施の社内アンケート

LAPRAS

LSW（時間に縛られない働き方）をうまく活用できていますか



活用できている

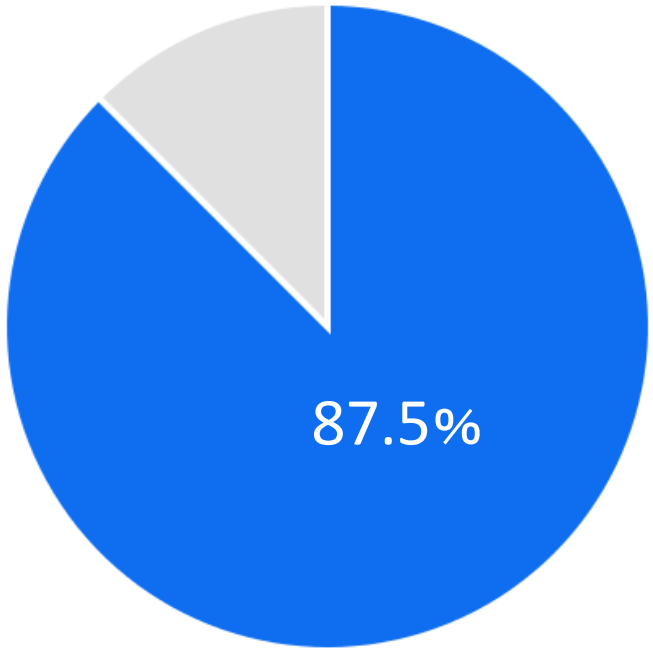
活用できていない

全体の **87.5%**

2023年8月時点の社内アンケート

LAPRAS

LSW（場所に縛られない働き方）をうまく活用できていますか



活用できている

活用できていない

全体の **87.5%**

2023年8月時点の社内アンケート

LSW導入後の社内の反応や従業員の様子

LAPRAS

- だらだらとした消化試合の様な仕事の仕方が減り、
  メリハリのある生産性の高い働き方をするメンバーが増えた

- パフォーマンス測定の明確化

  - 2週間に1回、業務の期待値をすり合わせるコンディショニングMTGの開催
  - 4半期に1度の人事評価制度でパフォーマンス計測が実施

副次的効果

生活面

- 積極的に子育てに参加するパパの増加
- 離れた実家に住む高齢の両親の様子を見に行きやすくなった
- 病気の家族の通院の付き添いがしやすくなった
- 通勤がない分、睡眠時間が増えてすっきりした頭で仕事ができ、午前中の効率がUPした

副次的効果

仕事面

- それぞれの生活スタイルに合った働き方の実現
- 今抱えている業務の重さや量に合わせた働き方の調整が可能
- 仕事に対するアクセルの踏み方をコントロールしやすく、燃料不足になりにくい

持続可能な働き方の実現へ

事例紹介

case study

実践事例 奨励賞

コクヨ株式会社

Japan Telework Award 2023

Encouragement

「働き方の実験！　コクヨ式ハイブリッドワーク」

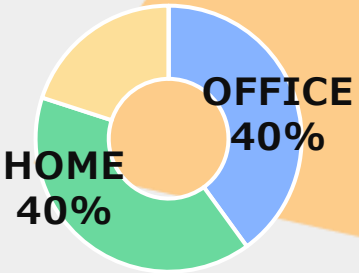
コクヨ株式会社

コクヨが目指す未来

コクヨが目指す未来は、誰もが活き活きと働き、学び、暮らし、つながる社会です。
自分らしく働き・学び・暮らしている「Life Based Working」の実現を目指して
様々な働き方の実験を行っています。

2022年、新しい働き方として「コクヨ式ハイブリッドワーク」を開始しました。

コクヨ式ハイブリッドワークの特徴



個人の成長をサポート

風土づくり

働く場所の選択

働く場所の選択

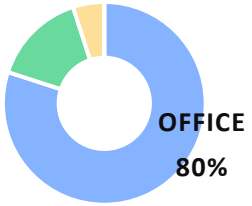
コクヨ式ハイブリッドワークでは、働き方を３つのパターンから選択し、
上司との対話を通じて、個人とチームにとって最適な働き方のパターンを決定します。

ワークプレイスポートフォリオ（働き方のパターン）の選択肢

26.6%
2023

出社は4～5日/週

オフィス中心タイプ



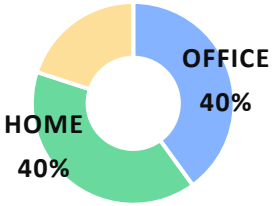
リアルなコミュニケーションを
重視する方やチームにおすすめ

新入社員やOJTに
おすすめ

66.4%
2023

出社は2～3日/週

バランスタイプ

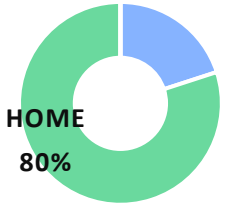


オフィス以外の外出が多い/業務に合せて
環境を選択したい方やチームにおすすめ

7.1%
2023

出社は0～1日/週

在宅中心タイプ



2022年1月時点では、対象者を限定

育児や介護との両立に
おすすめ

働き方のパターンを
選択する → チームで対話し、
最適なパターンを決定 → 働き方のバランスを
3ヶ月毎に振り返る

チームで働き方を振り返るとともに、社員の声を集めた「働き方ガイドライン」を定期的に発行し、働き方をブラッシュアップし続けています。

2022

1月

アンケート実施＆
ブラッシュアップ！

UPDATE

4月

UPDATE

7月

UPDATE

10月

2023

1月

UPDATE

4月

UPDATE

7月

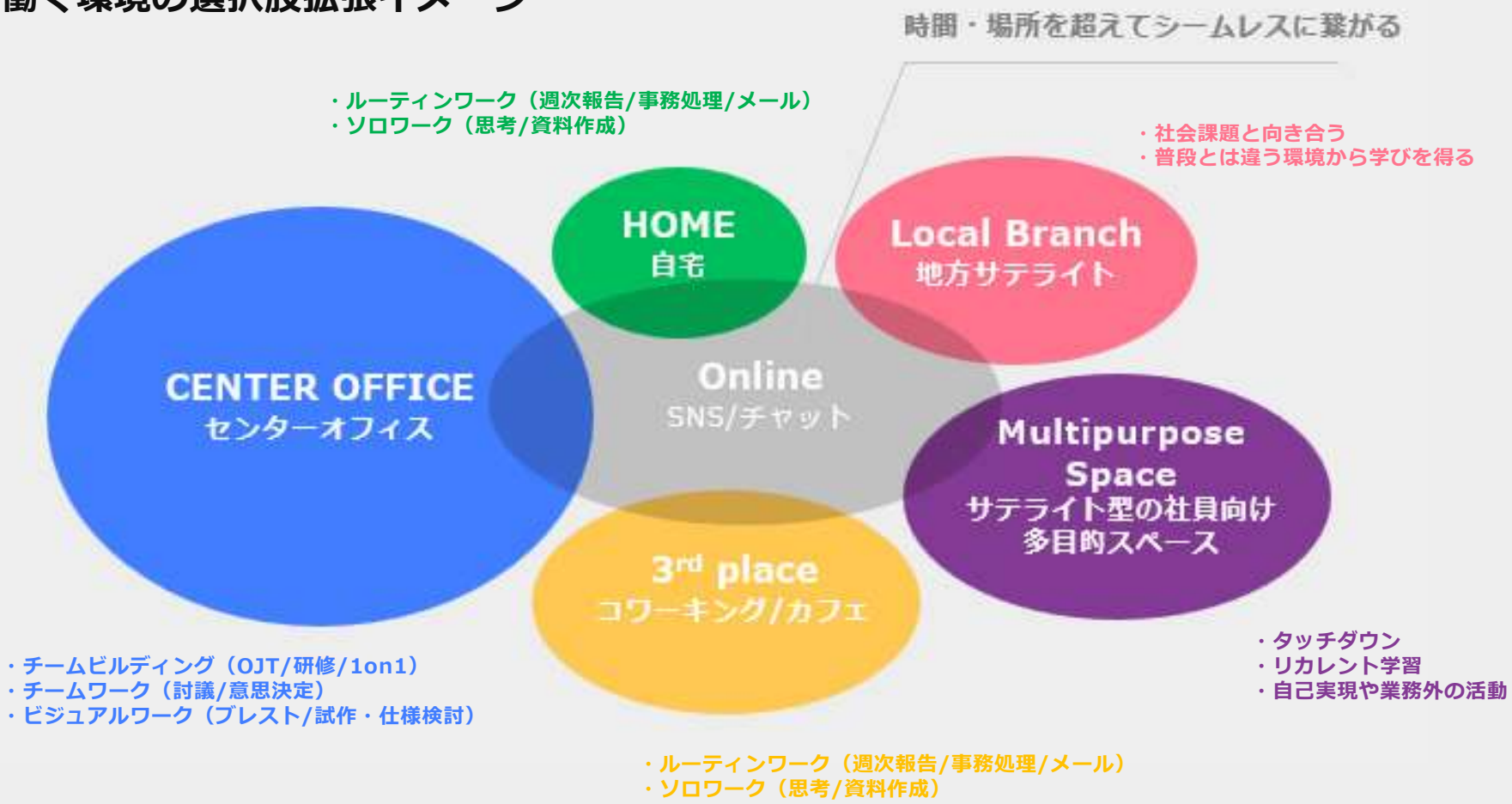
UPDATE

11月

個人の成長をサポートする

働く場所の新たな選択肢として、また、個人の成長を後押しする拠点として、
サテライト型の社員向け多目的スペース「n.5（エヌテンゴ）」を開設しました。

働く環境の選択肢拡張イメージ



個人の成長をサポートする

「n.5」は自分らしい働き方・学び方・暮らし方に寄り添う場所として、
自主勉強会、個人主催のイベントなど多様な目的で活用されています。

展示会イベント

ワークショップ

勉強会/交流イベント

事例紹介

case study

普及貢献/ビジネス創出 奨励賞

株式会社寿商会

Japan Telework Award 2023

Encouragement

第24回 テレワーク推進賞

2023/09/15

株式会社寿商会
代表取締役社長 若林 孝

株式会社寿商会

KOTOBUKI SHOKAI

- 昭和22年創業
- 資本金1600万円、従業員25名
- 本社金沢、東京、名古屋 に拠点
- **2つの主要事業**
  - **事務機器卸売**
  - **システム開発**

KONICA MINOLTA　UCHIDA　Google Cloud Partner　コンサルタントネットワーク　Claris Partner PLATINUM

テレワーク推進

背景と経緯

背景と経緯

KOTOBUKI SHOKAI

■ 経営課題 ■

事務機器卸売 事業

【今後も厳しい状況予想】

・ネット販売と競合による価格下落

・ペーパーレスの波で売上が低下

システム開発 事業

【さらなる成長の柱が必要】

・iPad向け開発は好調な受注状況

・ニッチな市場特化

【事業間の交流や相乗効果がない】

© 2025 KOTOBUKI

■ 経営戦略 ■

【コンサルティング事業の創出・拡大】

1. IT化・クラウド化の自社環境一新

2. ペーパーレス化・テレワークの自社実践

テレワーク推進

具体的な取り組みと工夫

具体的な取り組みと工夫

メインテーマ

どこに居ても仕事の質やスピードが変わらない

具体的な取り組みと工夫

どこに居ても仕事の質やスピードが変わらない

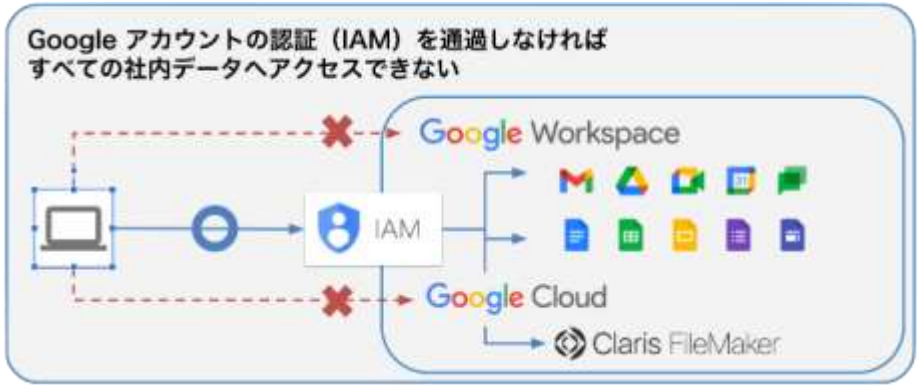
1. IT環境はすべてクラウド化
2. 「会社に居るから効率がいい」にしない社内ルール
3. 実践の中からの新しい取り組み

具体的な取り組みと工夫

どこに居ても仕事の質やスピードが変わらない

1. IT環境はすべてクラウド化

- 基幹システムを含むすべての社内システムをクラウド化
- チャット、Webミーティング、クラウドストレージの整備
- 電話のクラウド化



具体的な取り組みと工夫

どこに居ても仕事の質やスピードが変わらない

2.「会社に居るから効率がいい」にしない社内ルール

- 社内の連絡は常に社内チャットで → 近くに居てもチャットで連絡
  - 極力グループチャットを使用する社内ルール
- 会って話したい場合はWebミーティングで → 常時即時に開始可能にしておく
  - 今ちょっとWebミーティングはできない・・・と言われると、「業務中にこっそり別のことをしているんじゃないか」という疑念につながる。この疑念はテレワークの大敵。
- 定例会議(毎朝の朝礼、営業会議、上席会議)も出社を求めない
- すべてのデータはクラウドで。同時編集で高効率化

具体的な取り組みと工夫

どこに居ても仕事の質やスピードが変わらない

3. 実践の中からの新しい取り組み

- 中堅社員は当番制で、入社数年社員たちと30分ほどのなんでもWebミーティング
- 部署単位で週1回◯曜日出社
- 会社に集まるのは世間話、協調性を育む時間が重要
  - 「テレワーク化が進んだことで新たな課題」を解決するニューオフィス
  - 「unClouded Lab」それも含めて自社実践

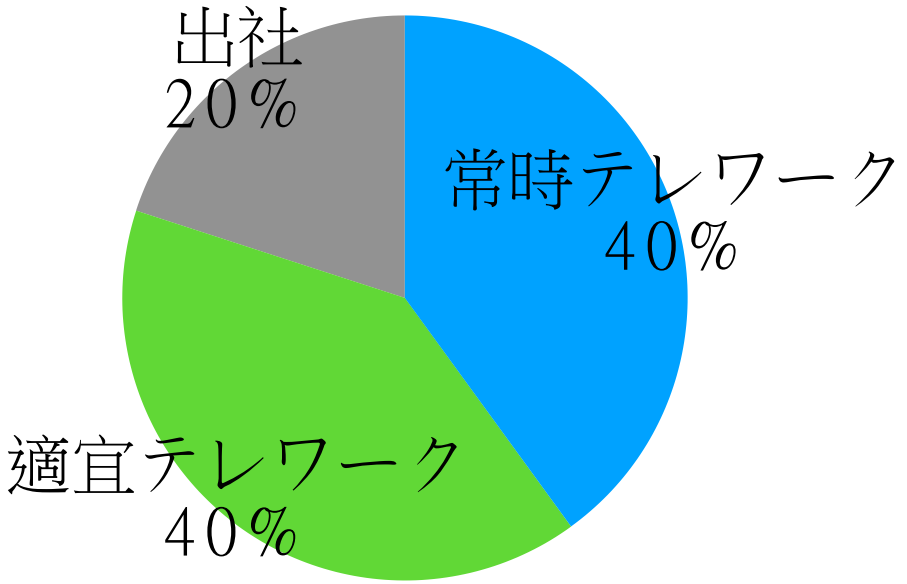
テレワーク推進

実施結果と効果

実施結果と効果

2023年9月現在でもテレワークを積極的に利用

- 常時テレワーク：10名
- 適宜テレワーク：10名
- 出社　　：　5名

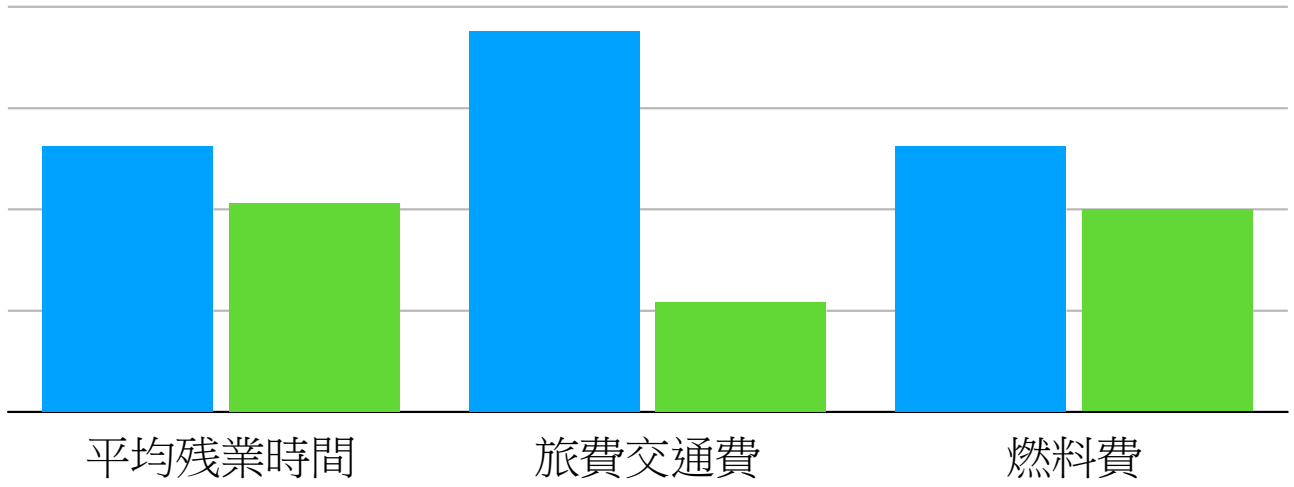


実施結果と効果

KOTOBUKI SHOKAI

残業時間と移動にかかる時間の大幅な削減

- 平均残業時間: 46.0分↘36.5分（9.5分 20%減）
- 旅費交通費: 6,587千円↘1,897千円（4,690千円減 71%減）
- 燃料費: 4,591千円↘3,501千円（1,090千円 23%減）

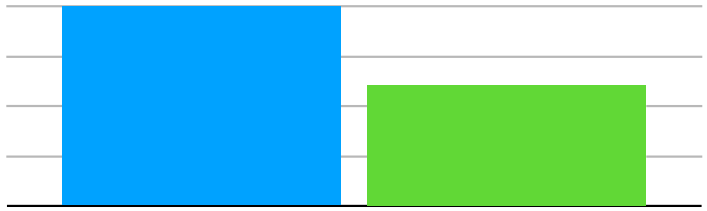


実施結果と効果

KOTOBUKI SHOKAI

ITを積極的に活用して情報共有

- チャットの一人一日平均送信数：9.4
- チャットの一人一日平均受信数：31.3
- Meetの一人一日平均参加数　　：2.2
- Driveファイル登録一人一日平均数：6.3
- コピー用紙排出量140Kg↘85Kg （65Kg 39%減）



実施結果と効果

KOTOBUKI SHOKAI

効率が向上し、満足度も高い社内評価

仕事のしやすさ

テレワークの満足度

テレワーク推進

今後の取組

今後の取組

- 出社比率の高い 事務職 のテレワーク率向上
  - 電子帳簿保存法による取引先からのデータによる提供を受けることで、より可能になると考えている
- 週 0/1/2 出社の実証
  - 週 2 出社で仕事のやりやすさは向上するのか
  - 週 0 フルリモートでも協調性を育む取り組み
- unClouded Lab による地域貢献
  - 弊社の取り組みを常時ライブオフィスとし、テレワークの魅力や自社の課題発見の場として活用してもらうことで、地域のIT化やテレワーク化推進に貢献

事例紹介
case study

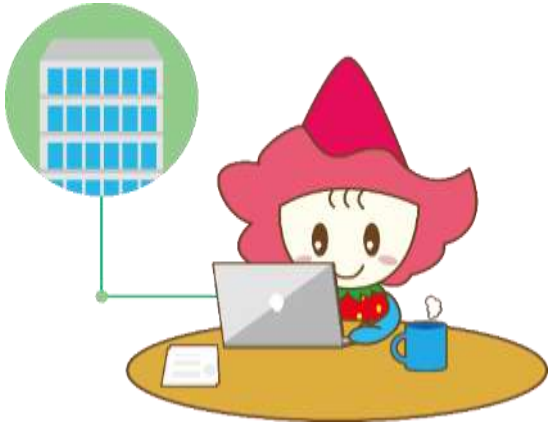
地域活性化 奨励賞
鹿沼市

Japan Telework Award 2023
Encouragement

KANUMA CITY
鹿沼市

鹿沼市のテレワーク推進に関する取組み

鹿沼市経済部産業誘致推進室



鹿沼市ってどんな街？

■面積：４９０.６４平方キロメートル
(県内３番目）※約7割は山林

■人口：約９万４千人
(県内７番目)

■東京から約100km

■50万の人口を抱える県都**宇都宮市**
国際観光都市の**日光市**などに隣接

■**自然環境**豊かな景観と
都市機能とのバランスのとれた都市

鹿沼市の 課題・背景

・全国的な人口減少が進む中、若年層の転出、空き家・空き店舗等の増加懸念

・雇用機会の拡大、感染症やライフスタイルの変化に応じた働く環境の整備

・転出者の抑制、Uターン就職者の増加へ

【関連施策：鹿沼市第8次総合計画・実施計画】

・シティープロモーション・移住定住の戦略的推進

・雇用の創出と働く環境づくり

・持続可能で暮らしやすい都市空間の形成

地方創生テレワークの推進（国の動向）

■ 首都圏に居ながらの単なる「テレワーク」や、転職を前提とする「移住」の推進に留まらない、地方におけるサテライトオフィスでの勤務など地方創生に資するテレワーク（地方創生テレワーク）を、国としても推進し、東京圏への一極集中是正、地方分散型の活力ある地域社会の実現を図る。

※内閣府　地方創生推進室HP　「地域未来構想２０　オープンラボ」より

鹿沼市での取組み内容

①鹿沼市シェアオフィス等整備事業補助金の創設
（R2～R3年度）

②既存観光施設のコワーキングスペース化

鹿沼市シェアオフィス等整備事業補助金の創設

新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークの導入が大幅に進み、「新しい生活様式」や「新しい働き方」が提唱されています。

鹿沼市にかかわる皆様の**多様な働き方や柔軟なライフスタイルの実現を後押しし、新たなビジネス及び雇用の創出に繋げるため、シェアオフィス等（シェアオフィス、コワーキングスペース、サテライトオフィス）の整備に要する経費の一部を支援**

対象者	●市内の空き物件を購入又は賃借し、改修して**シェアオフィス等を開設する企業等** ●**市内の空き物件の所有者**で、当該物件を**シェアオフィス等として提供するために改修を行う**方
対象経費	●**建物改修工事費**（内装、外装、給排水、電気、ガス、空調、トイレ等の設備の改修工事、防水工事等） ●**設計等委託料**（改修に係る設計・監理業務の委託に係る経費） ●**環境整備費**（通信環境の整備に係る経費）
補助額	●補助対象経費（税込）の**1/2**（1,000円未満の端数は切捨て） １つの補助事業につき**最大100万円**
条件	●3年以上継続してシェアオフィス等として維持、運営される見込みがあること ●シェアオフィス等に関する市の広報活動に協力すること ●市税に滞納がないこと　等

制度利用実績（コワーキングスペース）

ちいさな複合施設 あむ

・空き店舗をリノベーション

・コワーキングスペースや
シェアキッチンを併設

・コンパクトな複合施設へ

シェアスペースヨリドコロ

・古民家をリノベーション
しコワーキングスペース
としてオープン

・学習塾併設の多世代が
集まる地域の拠点

制度利用実績（サテライトオフィス）

株式会社farmo（スマート農業関連企業）

・栃木県宇都宮市本社の企業が鹿沼市の中山間地域の**廃校を利用し**
サテライトオフィスを設置

・サテライトオフィスを拠点に鹿沼市の豊かな田園を利用した**自社製品の開発、**
実証実験のフィールドの近接性、テレワークの実施により効率的な事業展開を実現

既存観光施設のコワーキングスペース化

《施設概要》

名称：屋台のまち中央公園内
　　掬翠園（きくすいえん）

所在：鹿沼市銀座一丁目

敷地面積：約1,600㎡

建屋：2棟

・ユネスコ無形文化遺産登録
「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」
　に使用する屋台展示館

・古き良き日本家屋と枯山水が
　特徴の日本庭園

・新緑や紅葉など四季折々の景色
　が楽しめる

既存観光施設のコワーキングスペース化

• 掬翠園整備　目的&コンセプト

《目的・効果》

（１）新型コロナ感染症をきっかけに、BCP対策等で地方へのサテライトオフィス設置を検討されている企業又はその従業員が、お試しで鹿沼市で勤務する機会を提供し、進出を後押しすることで、魅力的な就職先の誘致や地元雇用増に繋げる。

（２）テレワーク体験を通じて、まずは本市を知り、ファンになってもらい、観光以上移住未満と定義されている関係人口の創出を促し、継続的な関係性を保つことで、移住・定住へ向けた段階的な体験を提供する。

（３）近隣で検討されている中心市街地活性化事業や既存のコワーキングスペースと連携して、イベント等の際に官民連携を図り、オープンイノベーション創出の流れを構築し、地域経済の活性化に寄与する。

＜ 市民/事業者の利用シーン ＞

・地域の住民が集まれる場所
（土日祝日：習い事のスクールとして利用）

・お祭りや地域のイベントの際に開放
地域住民やボランティアのための集会所としての機能

・スキルアップのためのセミナーや交流イベントなどに利用

・日本の文化である茶道・華道が学べる建屋
セミナールームとして利用季節の行事やレンタルスペースとして利用

・コロナ禍でも安心してご利用頂ける“働く場”の提供

＜ 市外企業の利用シーン ＞

・都市部からのワーカーのためにコワーキング施設として利用者を募る

・四季とともに移ろう庭園の景色が楽しめるため、1度のみならず定期的に利用したくなる場所へ
(リピート利用)

・古民家独特の雰囲気を味わいながらのワーキング
普段とは違う新しい発想が生まれる空間

・掬翠園をきっかけに市外からの利用者に向けた鹿沼市の認知度アップを目指す
（市外利用者と地域住民の交流など）

既存観光施設のコワーキングスペース化

- 掬翠園　令和5年4月1日~ **RENEWAL OPEN！！**

《 利用料金 》

コワーキング利用

◎市民◎
1時間につき、1席当たり250円

◎市民以外◎
1時間につき、1席当たり300円

※貸し切り利用も可（別料金）

PRイベントの開催（テレワーク体験会）

参加者：市内外の企業
（製造業・物流業・
ホテル業・団体職員等）
個人事業主

開催日：令和5年4月19日

内　容：**掬翠園でのテレワーク体験会**
講師を招いてテレワークや
今話題の生成型AIに関する
セミナーを開催

参加者の声

・テレワークを行うための**設備の充実度や雰囲気の良さに高評価を得た**一方、**日本庭園や建屋そのものが持つ他にはない魅力をより強調してPR・発信していくことが重要**というお声をいただき、今後の運営改善の材料へ

成果と展望

《 取組み内容 》

・空き家・空き店舗を活用したコワーキングスペースの整備支援

・サテライトオフィスの誘致と整備支援

・既存観光施設のコワーキングスペース化

《 成　果 》

・テレワーク環境整備、空き家等の利活用促進、テレワーク推進・BCP対応・地方移転を検討する企業の受け皿の整備を支援

・サテライトオフィス設置を支援し、遊休公共施設の利活用と事業を支援

・本市の抱える複数の課題にアプローチし、課題解消に向けて前進した

今後の展望

- **移住定住・観光・DX・企業誘致等の各施策と連携し**、お試し利用から鹿沼市で働くイメージを持ってもらい、**認知度向上・関係人口の創出・移住定住促進の流れを生み出す**
- 連絡協議会設置などにより**公営・民営両方の施設の連携を強化し**、市内全域で利用者の増加を目指す

『鹿沼市を魅力的な働く場として確立する』

市の特産品の一つ
いちごが有名!!

鹿沼市の魅力を発信しています!!

掬翠園（きくすいえん）
紹介動画

鹿沼市公式
ホームページ
ジブンスタイルかぬま

【この動画に関するお問い合わせ先】

鹿沼市役所　経済部産業誘致推進室
TEL：0289-63-2266
E-Mail：sangyosuishin@city.kanuma.lg.jp

事例紹介

case study

社会貢献 奨励賞

株式会社オープンハウスグループ

Japan Telework Award 2023

Encouragement

サテライトオフィスによる
障がい者雇用の歩みと取り組み

株式会社オープンハウスグループ

Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

会社概要(1)

商号	株式会社オープンハウスグループ ※2022年1月持株会社体制へ移行、株式会社オープンハウスより商号変更
代表者	代表取締役社長　荒井　正昭
創業	1997年9月
本社所在地	〒100-7020　東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー20階・21階（総合受付20階）
資本金	201億163万円
事業内容	グループ会社などの経営管理　総合不動産
従業員数（連結）	4,435名(2023年３月末)
上場取引所	東京証券取引所　プライム市場

Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

会社概要(2)

グループ企業の紹介

株式会社オープンハウス	戸建および米国不動産の販売
株式会社オープンハウス・アーキテクト	戸建およびマンションなどの建築請負
株式会社オープンハウス・ディベロップメント	戸建およびマンションの開発
株式会社プレサンスコーポレーション	ワンルームおよびファミリーマンションなどの開発
株式会社オープンハウス・プロパティマネジメント	不動産の管理
株式会社群馬プロバスケットボールコミッション	群馬クレインサンダーズ運営

Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

企業理念

- 「お客さまが求める住まい」を愚直に追求し続けます。
- やる気のある人を広く受け入れ、結果に報いる組織を作ります。
- 業績をあげ規模を拡大し、社会に必要とされる不動産会社となります。

ミッション

都心部で手の届く価格の住宅を提供

Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

■ 2013.9期の上場から11期連続で過去最高の売上高、利益の更新を目指す

Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

2015年
サポート付サテライトオフィス　スタート

本社から離れた場所にあり、

人的・設備的サポート環境の整った

障がいのある方の雇用促進のために作られた

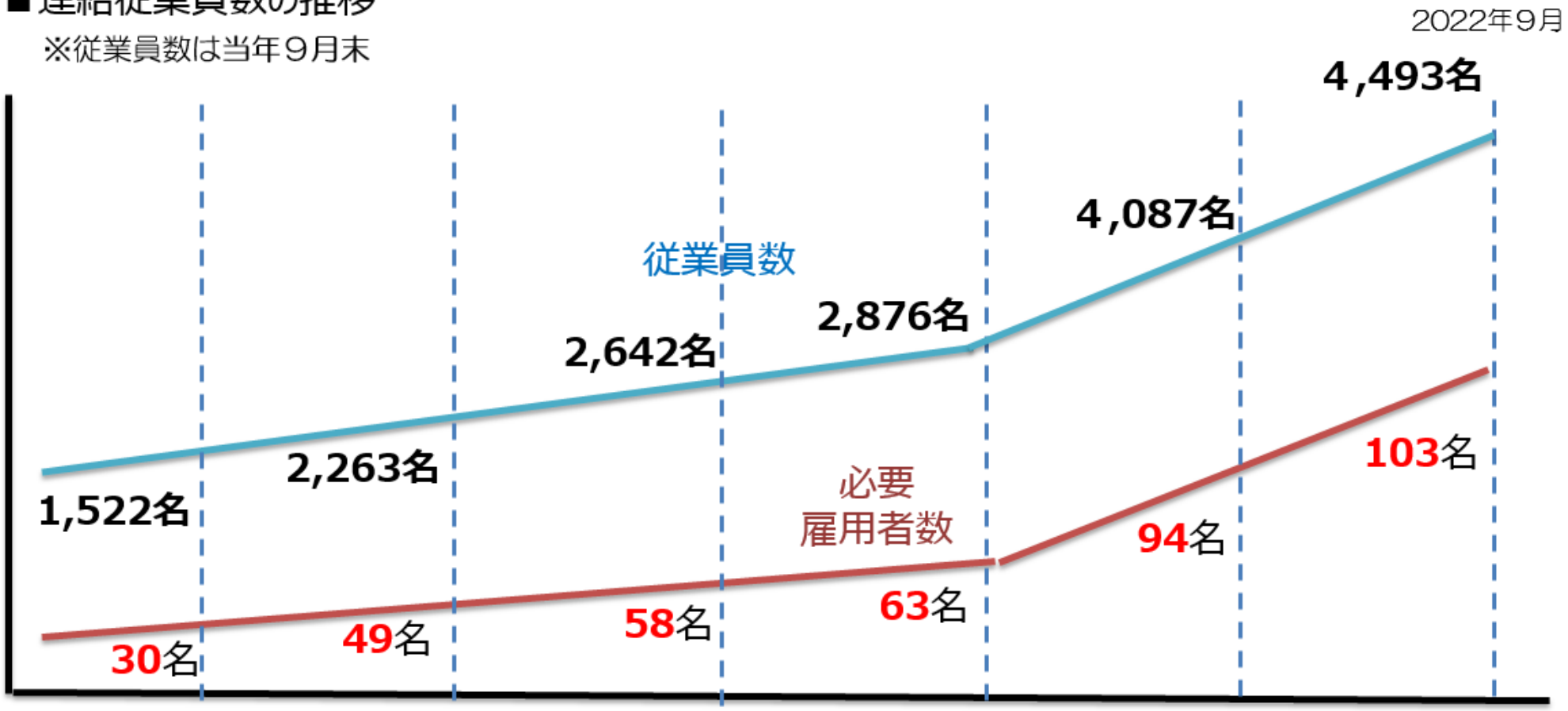
オフィス

Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

これまでの歩み/量的な取り組み(1)

■連結従業員数の推移

※従業員数は当年９月末

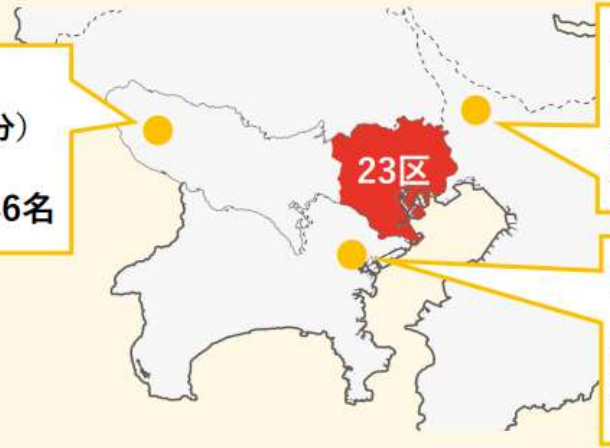


2015年度	2018年6月	2019年10月	2021年3月	2021年6月
八王子オフィス設置 9名でスタート 本社の雇用を含めて 合計19カウント	横浜オフィス設置 8名でスタート 合計38カウント	八王子オフィス 拡張移転	企業グループ算定特例(関係子会社特例)許認可	柏オフィス設置 ４名でスタート

Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

これまでの歩み/量的な取り組み(2)

✓企業理念でもある「やる気のある人を受け入れる」組織づくりを継続
✓障がい者雇用においても、やりがいを持って働くための環境を整備



八王子オフィス
（最寄り駅徒歩１分）
面積：311㎡
就労可能人数：46名

柏オフィス
（最寄り駅徒歩４分）
面積：197㎡
就労可能人数：24名

横浜オフィス
（最寄り駅徒歩４分）
面積：284㎡
就労可能人数：36名

2023年9月1日時点
サテライトオフィス3拠点に
90名を配置

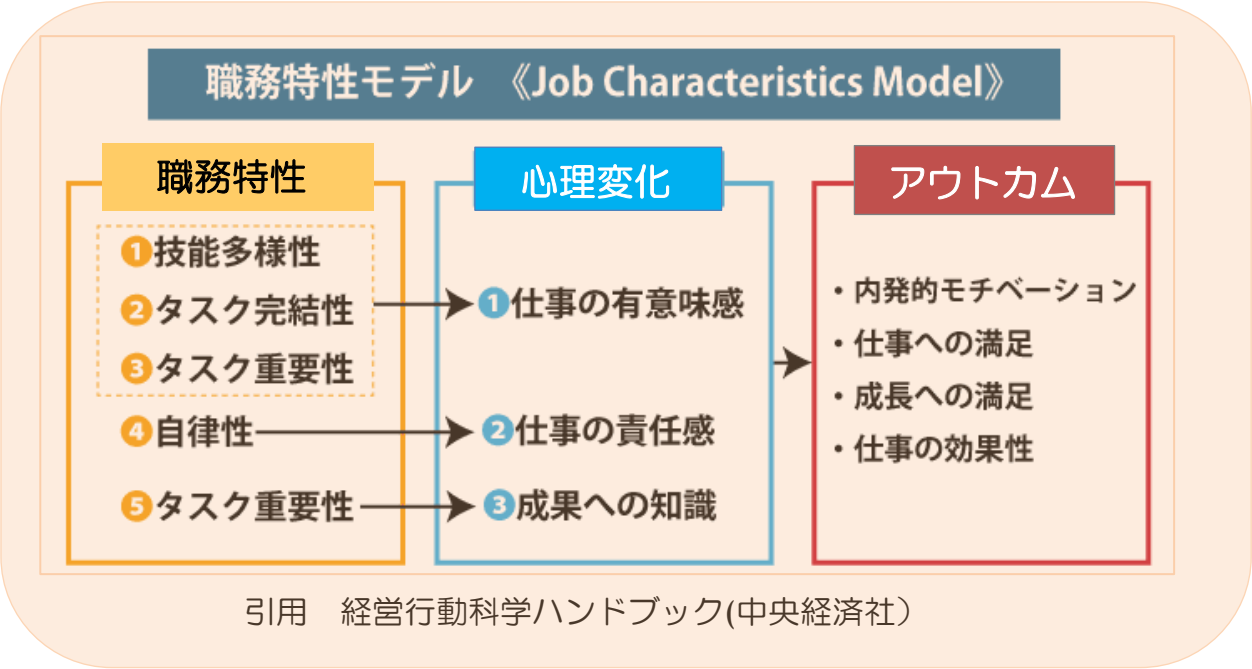
雇用率 **2.90**%
※2023年6月30日時点（グループ全体）

障がい者雇用人数 **106**名
※2023年6月30日時点（グループ全体）

Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

職務特性理論

HackmanとOldhamによって提唱されたモチベーション理論
（仕事の特性によって内発的動機付けを高める）



引用　経営行動科学ハンドブック(中央経済社)

業務
リーダー制

多彩な
一般業務による
職務拡大

業務遂行上の
パラメーター

チーム
マネジメント制

組織文化
形成

複線型
キャリア開発

目標による
マネジメント

Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

これまでの歩み/質的な取り組み(2)

■障がいのある方を特定組織に集約しつつも、情報通信機器を通じて本社や事業部と日常的に連携し、<u>一体化した業務遂行によりインクルージョン</u>を目指した。

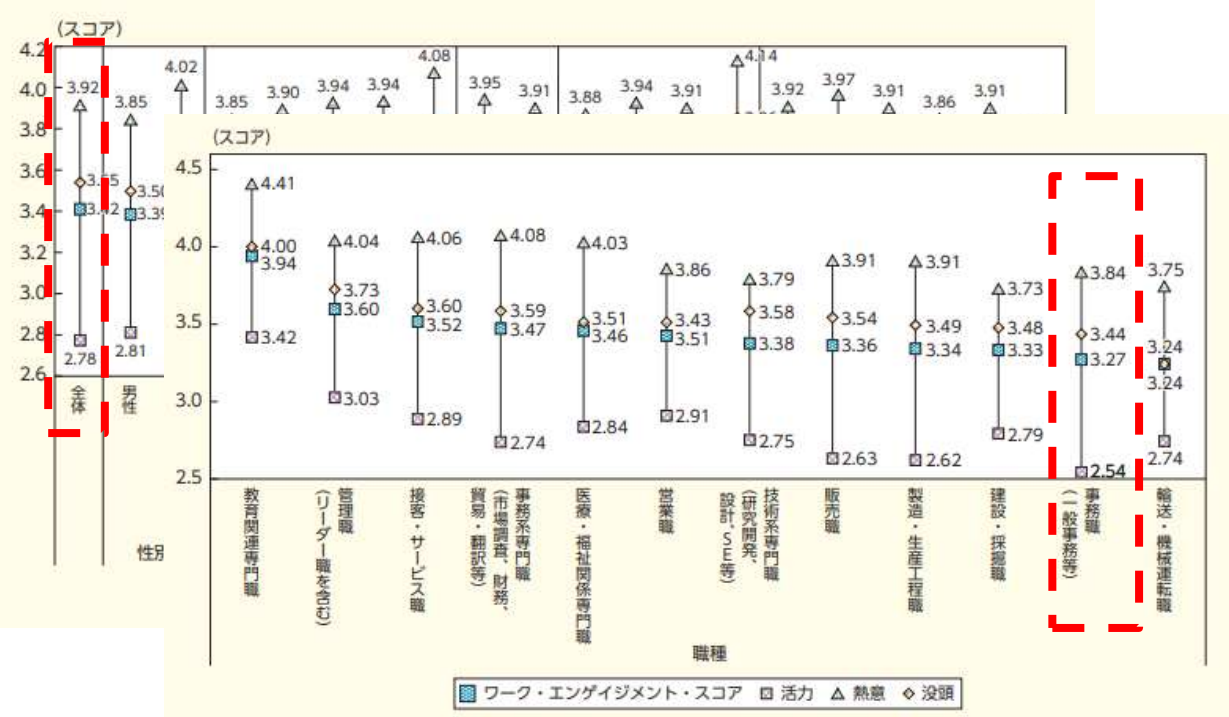
■一般雇用部門で行われている**一般業務**を受け持ち、全社の<u>**働き方改革**</u>をサポートするチームとして機能させ組織貢献を数値化。多彩な移管業務により一人ひとりの職務拡大を進めた。

部署名	移管業務名
事業部門	・物件登録　・謄本取得　・決済後システム入力　・支払依頼業務　・固定資産税登録業務
	・マンション用地物件登録　・反響対応　・地歴、謄本、ボーリング取得、反社チェック
	・収益物件登録　・名刺登録　・賃貸図面作成
	・重説確認
	・大工図面作成　・ラミネート　・契約書　・入場者名簿　・確認済証　・キーボックス入力 ・物件地図　・公共料金入力　・不動産取得税　・産廃収集・事業場コード登録　・地盤格納　・公共料金集計
	・物件確認　・周辺画像　・現地写真獲得/加工　・撮影画像チェック
	・新築届申請　・契約情報
	・営業関連データ登録
	・図面データ化
間接部門	・年末調整(11月～12月)　・住民税特別徴収対応(６月)　・定期健康診断(10月～３月)
	・反社チェック業務　・契約書PDF化
	・経費精算
	・持株会
	・車両チェック

Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

ワーク・エンゲイジメント（Work Engagement）

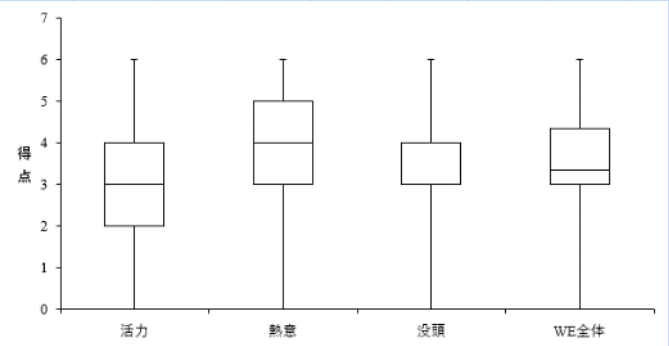
仕事に関連するポジティブで充実した心理状態
「活力」「熱意」「没頭」の３つが揃った状態



厚生労働省(2019).労働経済の分析-人手不足の下での「働き方」をめぐる課題について-より引用

（独）労働政策研究・研修機構が2019年２月末時点の状況について調査を実施。
企業調査票は4,599サンプル 、正社員調査票は16,752サンプルの回答を得ている。

サテライトオフィス勤務者のWE・スコア



変数名	有効N	平均値	中央値	標準偏差
活力	74	3.081	3.000	1.515
熱意	74	3.932	4.000	1.348
没頭	73	3.479	3.000	1.454
WE全体	73	3.507	3.333	1.249

	企業調査平均	事務職平均	サテライト勤務者
□WE・スコア	3.42	3.27	3.51
□活　力	2.78	2.54	3.08
△熱　意	3.92	3.27	3.93
◇没　頭	3.55	3.44	3.48

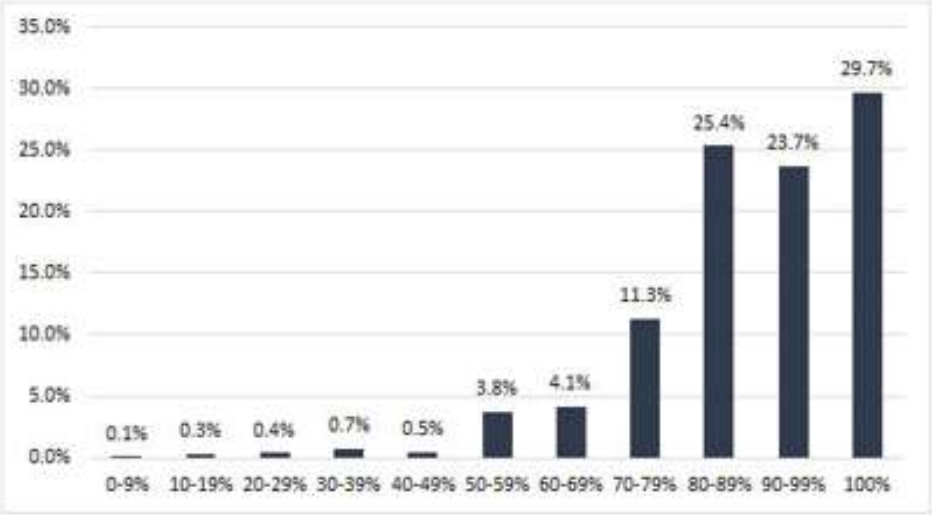
企業調査との比較

Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

プレゼンティーイズム（Presenteeism）

何らかの体調不調により出社していても、本来発揮されるべき職務遂行が果たされず、低下している状態を指します。従来の労務管理では従業員が欠勤する「アブセンティーイズム」（absenteeism）を問題視してきましたが、昨今、出社しているものの業務に身が入らないプレゼンティーイズムが、組織全体としての損失は大きいことが指摘されています。

「病気やケガがないときに発揮できる仕事の出来を100%として過去４週間の仕事を評価してください」という設問に対して、0%から100%で回答した値。

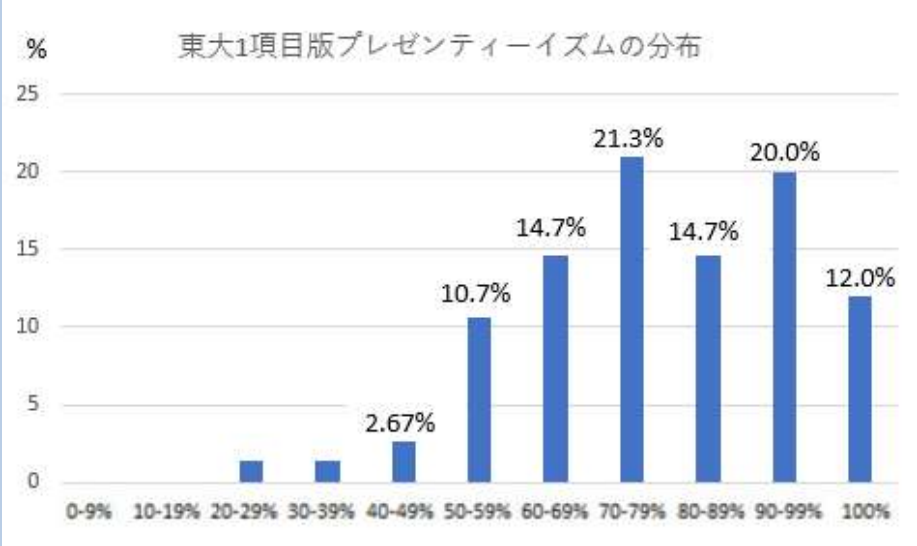


東大1項目版プレゼンティーイズムの分布

n=6,065、平均84.9%、標準偏差15.7ポイント

東京大学政策ビジョン研究センターで実施した
横浜市内中小企業等の健康経営効果測定より引用

サテライトオフィス勤務者のプレゼンティーイズム



n=74件、平均83.5%、標準偏差18.3ポイント

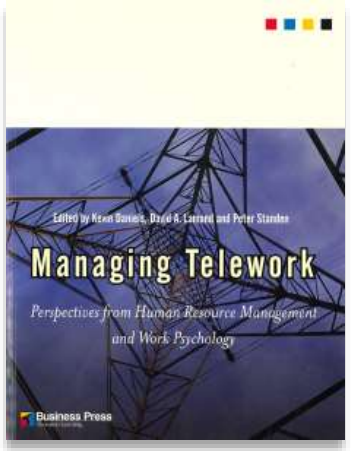
Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

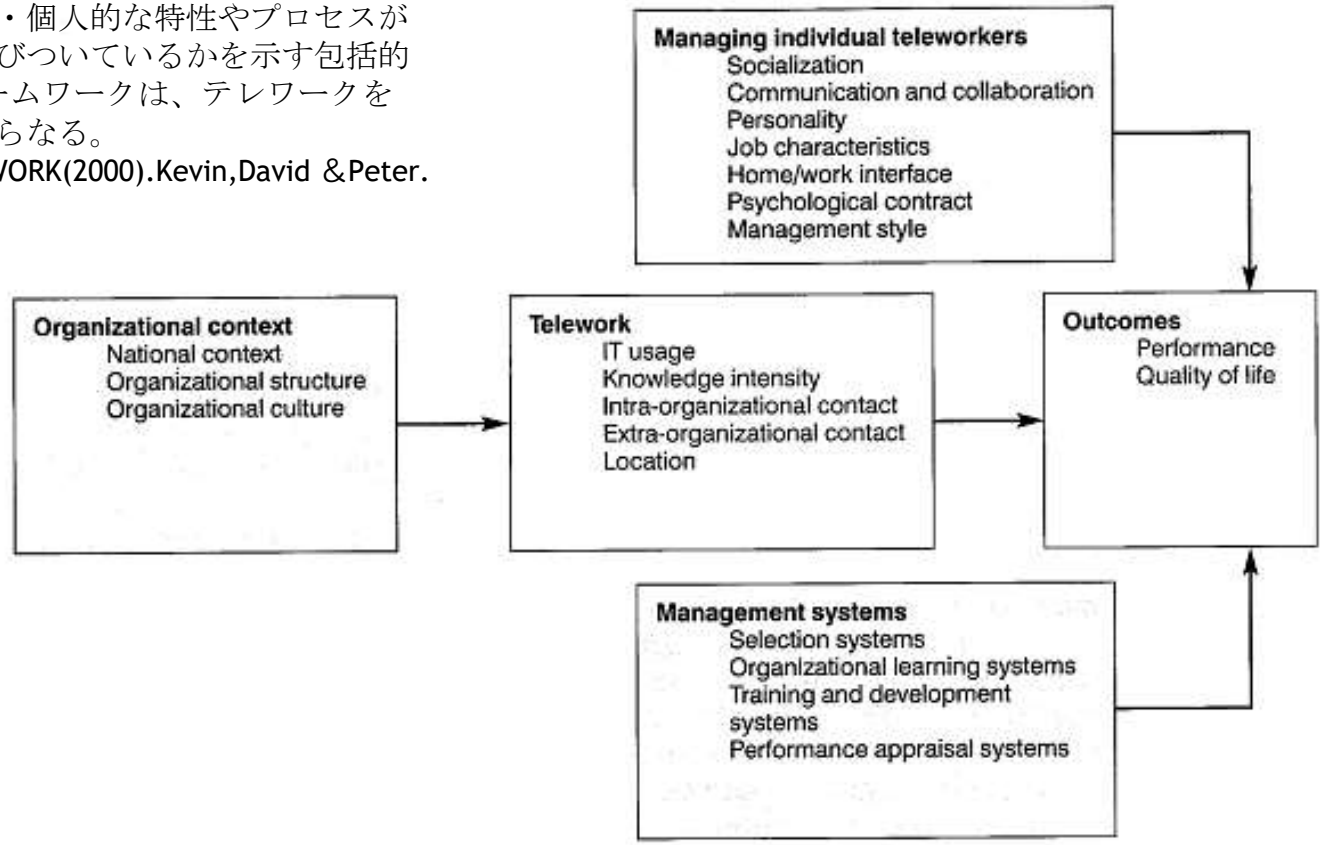
障がい者雇用モデルの考察

テレワークを管理するためのフレームワーク

テレワークには、様々な組織的・社会的・個人的な特性やプロセスがが存在する。これらの力はどのように結びついているかを示す包括的な枠組みがある(Lamond他, 1997)。フレームワークは、テレワークを管理する３つの主要なコンポーネントからなる。

MANAGING TELEWORK(2000).Kevin,David ＆Peter.





A framework for managing telework

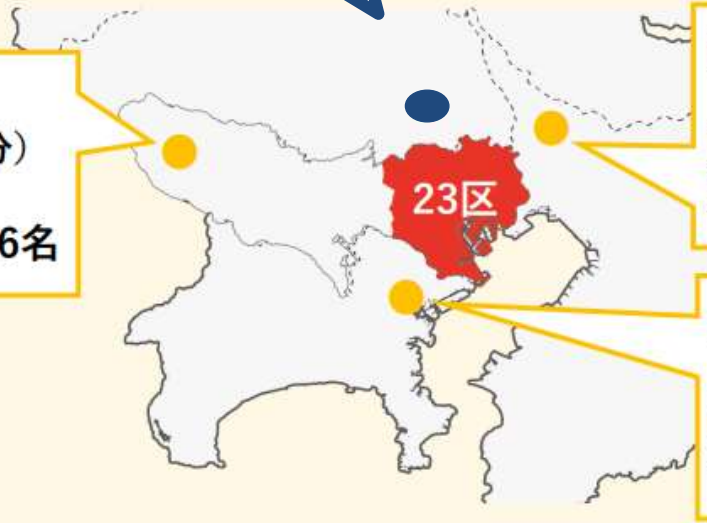
Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

サテライトオフィス拠点拡大

障がい者雇用支援の専任者が常駐し就労支援、
業務指導サポートを行う体制を整えていきます。

さいたまオフィス

八王子オフィス
（最寄り駅徒歩１分）
面積：311㎡
就労可能人数：46名



柏オフィス
（最寄り駅徒歩４分）
面積：197㎡
就労可能人数：24名

横浜オフィス
(みなとみらい駅直結)
面積： 450㎡
就労可能人数：75名
(2023年９月)

行政による障がい者雇用の事例掲載

ダイバーシティ推進の一環である障がい者雇用の取り組み・職場づくりが行政HPに掲載。

・千葉県HP「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス令和4年度認定事業所」
https://www.pref.chiba.lg.jp/kanjin/shougai/friendly/r4-jigyousho.html
・横浜市HP「障害者雇用好事例紹介」
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/fukushi/annai/shuro/somota-syuro-koyo/jirei.html#ludosan

笑顔いっぱい！
フレンドリーオフィス
千葉県障害者雇用優良事業所

Copyright © 2023　株式会社オープンハウスグループ

OC-policy <オペレーションセンター・ポリシー>

①ディーセントワーク
(働きがいのある仕事・職場の実現)を推進する
②**“いい感じに働く”**を追求する
③風通しのよい活発な職場を創る

OC-spirit <オペレーションセンター・スピリット>

①職場の仲間を批判したり、非難しません。
②コミュニケーション(報連相)を活発にチームワークを大切にします。
③問題意識・当事者意識・責任意識を持って取り組みます。
④高い目標にチャレンジし 「働きがい」「 生きがい」を追い続けます。
⑤何事も**ＯＰＥＮ**に沿って取り組みます。
「**O**」perate（自ら）動く…まずは行動する
「**P**」articipate（仲間へ）加わる…面倒なことも参加する
「**E**」njoy （仕事を）楽しむ…主体的に楽しむ
「**N**」estle （人に）寄り添う…気軽に相談する
⑥自分自身の言動に責任を持ちます。
⑦美点凝視の精神を大切にします。
⑧素直になろう

ウェルビーイング
（well-being）

Copyright © 2023 株式会社オープンハウスグループ

事例紹介

case study

ユニークな取り組み ユニーク賞

小田原もくもく・ワーケーション会

Japan Telework Award 2023

Unique

小田原もくもく・ワーケーション会

団体/活動紹介

Think MIRAI

小田原から未来を考える

アジェンダ

〇小田原もくもく・ワーケーション会とは

〇活動内容

〇メッセージ

Part1.

〇小田原もくもく・ワーケーション会とは

小田原もくもく・ワーケーション会

小田原市近辺の素敵なワーケーションスポットにて、
もくもくと各自の作業をする「もくもく会」をメインとして活動。
会社員・フリーランス・創業予定者など様々な業種同士で交流しつつ、
もくもく会×ワーケーションにて、パフォーマンスを最大限高めうる、
自らがときめく作業環境を日夜探求しています！

（参考）「もくもく会」とは…

・やりたいことを各自で持ち込み、「黙々と」勉強したり作業したりする会です
　ex.「図書館にみんなで集まってテスト勉強しようぜ！」みたいなイメージです
・こんな人におすすめ
　ex . 家で一人だとダラけちゃう/やる気スイッチ入りにくい
　　→　みんなで取り組む良い緊張感が集中力UP！
　ex. 勉強を共にする仲間や相談相手が欲しい
　　→「勉強」を軸に互いの自己研鑽を応援する仲間ができる！

(引用元) みんコワ - 木曜もくもく会
https://mincowa.com/blog/thursday_mokumoku

もくもく会とは、それぞれ各自もくもくと勉強したり作業したり本を読んだりするだけの会のことです。（なんじゃそれ？って感じですよね）
プログラミングでも会計処理でも執筆でも　なんでもOK。
集中して何かやる。ご自身で何をやるか決めて来てください。

(引用元) もくもく会とは？ - TECH:CAMP
https://tech-camp.in/note/technology/77691/#i-3

もくもく会とは、主にプログラミングを勉強する目的で、複数人が集まって各自「黙々」と作業をするイベントのことを指します。
共通の学習言語や所属業界、習熟度などのテーマ別で開催される場合が多く、過去には以下のような「筋肉もくもく会」というものもありました。
場所はカフェやフリースペースで行われる場合が多く、朝活として平日早朝に行われるものから、土日の日中を使って開催されるものまであります。
「勉強に集中したい」という同じ目的を持った人と出会えるので、参加することで学習意欲を更に高めることができます。

小田原もくもく・ワーケーション会

「小田原もくもく・ワーケーション会」創設の”3つの出会い”

■「もくもく会」というスタイルの勉強会との出会い

・家だと勉強に集中できないタイプ（ex. Youtubeで動画見て一日終わる）で、
勉強しなきゃと思っても、なかなかモチベーションが保てず・・・。

→　プログラミングの勉強会に参加したのをきっかけに「もくもく会」に出会う
他の人と一緒にもくもく作業するので、程よい緊張感があり、作業が捗る！
（ここから、色々なコミュニティの「もくもく会」に顔を出し始める）

■地域での様々な人との出会い

・コロナ禍での小田原へのUターンを機に、地域で町おこしや創業を目指す仲間たちと出会う。
皆それぞれ、資格試験や独立に向けた準備など、勉強や作業することがたくさんあった。

→　小田原でみんなで集まって勉強する場が作りたいな、と思い始める

■「ワーケーション」という新しい働き方との出会い

・テレワークに取り組む中で、体調不良やON/OFF切替の難しさに悩み、
打開策を求め様々なことに取り組む中で、「ワーケーション」の効用に気づく

→　「もくもく会」も、ずっと同じ場所ではなく、
自然豊かな地域の特性を生かして、市内外のいろんなスポットを回って、
生産性が高まる最高のワーク環境を探究したい！と思い立つ

「小田原もくもく・ワーケーション会」を創設！

↑ロゴは会のデザイナーさんが
作ってくれました！

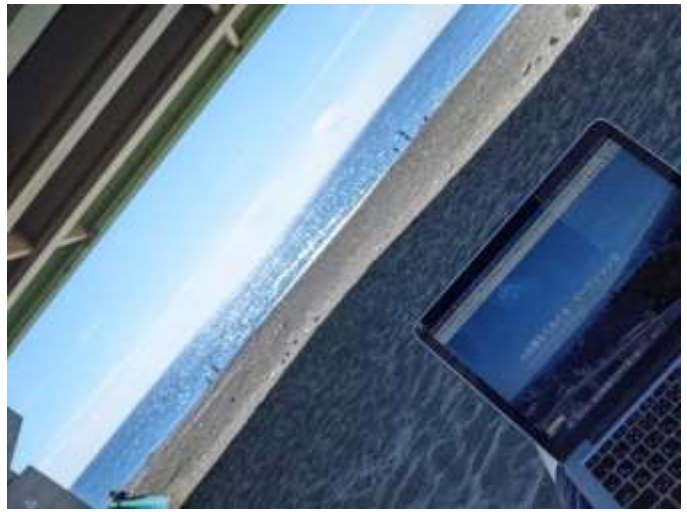
Part2.

◯活動内容

活動内容

小田原市近辺の各所にて「もくもく会」開催（不定期/場所ランダム）

市民交流センター



海

古民家

コワーキングスペース

キャンプ場

公園（ex. 小田原城 城址公園）

（参考）開催レポート

御幸の浜@小田原

玄関テラス@湯河原惣湯

小田原城址公園(本丸広場)

Have a nice day! @小田原

↓詳細はこちらから↓

note

活動内容

企業/団体と連携したワーケーションイベントの開催

小田原ワーケーション実証実験(小田急電鉄さま主催)
ワーケーションイベントを共催

朝活イベント（ジョギング＋もくもくワーケーション会）
小田原ランニングサークルと共催

活動内容

その他イベント開催/登壇など 等

「運動習慣＋街再発見」の街歩きイベント開催
（小田原・東京都[青山]で開催）

おだわらSDGsパートナー[課題解決ワークショップ]
「小田原でのワーケーション広め方」をテーマに登壇

Part3.

〇メッセージ

メッセージ

是非一緒に「もくもく・ワーケーション会」やりましょう！

主催者自身、コロナ禍で神奈川県小田原市へUターンを決めたものの、
「東京都内に比べると、人流も少ないし、新たな出会いは少なくなるだろうな…」
と漠然と思っていました。

ところが…
本コミュニティを通じて、地域住民との繋がり、同世代の移住組との関わり、
市外・県外での様々な交流の機会が生まれ、気づけば、
<u>都内時代よりも多くの出会いに恵まれました！</u>

今後も「もくもく会×ワーケーション」を通じて、
自らのパフォーマンスを最大限高めうる、心ときめく作業環境を探求でき、何かに打ち込み、何かを見つけられるような場作りをしていきたいなと思っており、
是非、皆さまとも交流の機会やイベントを一緒に作らせて頂けますと幸いです！

「イベント一緒にやりたい！」「空いてる古民家使って良いよ！」「うちのコワーキングに遊びに来て！」などなど、是非お声がけくださいませ！

小田原もくもく・ワーケーション会

Think MIRAI
小田原から未来を考える

Thank you for listening!!
& Follow me!!

事例紹介

case study

ユニークな取り組み ユニーク賞

株式会社北陸人材ネット

Japan Telework Award 2023

Unique

北陸をもっと元気に!!
北陸人材ネット

第24回テレワーク推進賞応募

「わくわく」働くご縁づくりで
「北陸をもっと元気に！！」

株式会社北陸人材ネット
代表取締役　山本 均

さて弊社は役員1名、社員は5名、私以外は全員が女性です。うちワーママが3名。
居住地は石川県3名、富山県1名、北海道1名、皆で一緒にテレワークで働いています。

北陸をもっと元気に!!
北陸人材ネット

自分の会社を実験台として
「わくわく」働く仕組みと仕掛けを試行中

わくわくは内発的動機付けのエンジン！！

ありたい姿

今の姿

有料職業紹介を中心とした事業を行っており、より良い形でのマッチングを進めるためには、まず自分たちがよりわくわく働くことにこだわるべきと考えています。
そこで、会社を実験台として様々な働き方改革にチャレンジしています。

①望む自分の姿が見えてくる（ありたい姿の具体化）
②それに自由に選択できる手段で（自律性）
③近づけている実感（成長と自己肯定感）

→ わくわくがより高まり
Well-beingが向上する

北陸をもっと元気に!!
北陸人材ネット

《ワーケーション費用補助制度》
北海道・中島公園にて業務

《原則出社不要》
各々が自由な場所で業務

弊社は全社員がテレワーク勤務で原則出社不要です。皆在宅勤務を中心に、様々な場所で自由に働くことが可能です。加えてワーケーションに対して年間5万まで自由に使える手当もあります

さらにフルフレックスタイムも導入しており、好きな時間に働くことが可能で、1日あたり最低1時間働けば仕事をした日にできます。
されに1日あたりの標準労働時間も自由に設定可能。2名の社員が時短勤務を選択して仕事をしています。

《フルフレックス》
午前中に家業の昆布漁手伝い

《フルフレックス》
1時間だけ勤務・雪だるま祭りボランティア

《フルフレックス》
子供たちと作品制作

北陸をもっと元気に!!
北陸人材ネット

《アニバーサリー休暇》
家族で韓国の知人訪問

《アニバーサリー休暇》
夫婦で平日ランチ

仕事の進め方も各人に裁量に大きく委ねていて、指示命令はほとんど行っていません。雑談もOK。
フルフレックスにしたら有給を使う機会が減ってしまったので昨年からアニバーサリー休暇制度も導入して年に最低3日有給取得しないといけないルールを設定しました。
副業もOKで現在2名の社員が副業を行っております。

《アニバーサリー休暇》
ダーツで決める人もいます

地域に広がる取り組み事例

北陸をもっと元気に!!
北陸人材ネット

主な活動・講演歴

2021年　地元総合建築設計事務所 働き方改革推進セミナーにてワークショップ開催
2021年　日本テレワーク協会 第9回JTAトップフォーラム パネルディスカッションに登壇
2022年　厚生労働省 テレワーク導入セミナーにて講演
2022年　石川システム工業会 テレワーク推進セミナーにて講演

主な受賞歴

- 2017年　北陸の企業で初めて**テレワーク先駆者100選**に選出
- 2018年　**金沢市 働く人にやさしい企業**に選出
- 2021年　第7回**ホワイト企業大賞** 特別賞受賞
- 2021年　**地方創生テレワーク推進運動**に参画
- 2021年　第4回**WOMAN's VALUE AWARD** 特別賞受賞
- 2022年　第22回 **テレワーク推進賞** 奨励賞受賞
- 2023年　**石川県ワークライフバランス企業**に選定
  エル星（三つ星）認定取得

私たちが実践している「わくわく働く」を様々な形で世の中に広げるために私たちはいろいろな活動に参加し、様々な働き方改革関連のアワードにチャレンジしてきました。

TW100 Telework Pioneer

金沢市 はたらく人にやさしい事業所

地方創生テレワーク推進運動 Action 宣言

特別賞 受賞 第四回 WOMAN's VALUE AWARD 女性活躍推進企業

石川県ワークライフバランス企業認証 WIL

石川県ワークライフバランス企業認定企業 WIL

石川県パパ子育て応援企業認定 WIL

女性が活躍しています！

ヘンタイネットワークが働く未来を創出する

自分のわくわくに向き合ってどっぷりはまっている人を
「ヘンタイ」と名付けています。
「ヘンタイ」な人たちのネットワークが
日本の働く景色を替え
働く未来を創出します。

是非、一緒にディスカッションして
日本の働く景色を変えていきましょう！！

山本均のメールアドレス
yamamoto@hokurikujinzainet.com

山本均のFACEBOOK
https://www.facebook.com/yamamoto.hitoshi

JTA Practice Gallery

https://japan-telework.or.jp/jta-practice-gallery/

「JTA Practice Gallery」は日々進化しているテレワークの最新事例を公開することにより、これからテレワークの導入を検討している企業・団体や、既にテレワーク導入済みでさらにステップアップしたい企業・団体が参考にし、更なるテレワークの普及・促進を図ることを目的としています。

「JTA Practice Gallery」では各企業・団体の取り組みを3分程度のYouTube動画でご覧いただけます。

是非、テレワークを活用した柔軟な働き方につなげていただければ幸いです。

問合せ先

https://japan-telework.or.jp/

一般社団法人 日本テレワーク協会
住所　〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-103　東京パークタワー2F
担当　関　正吾
E-Mail :sekis@japan-telework.or.jp
Tel　　:03-5577-4572　携帯:080-7723-6261
Fax　　:03-5577-4582

（注意）本資料の情報を転載、複製、改変等は禁止いたします。